DVDプレーヤー
DVD Player

DD-134

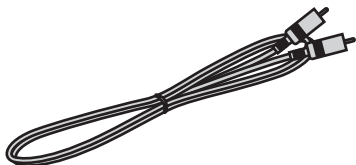
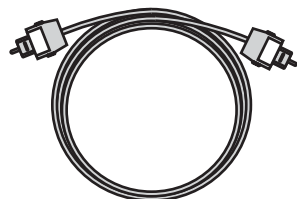
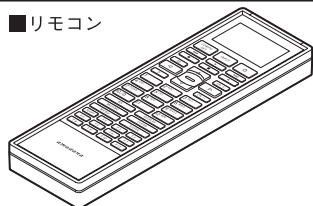
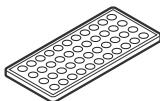
Instruction Manual

INDEX

REALFLEET

REALFLEET co., ltd. m² Harajuku 5F, Jingumae 6-27-8,
Shibuya, Tokyo Japan 150-0001 tel: 03-5774-0947 fax: 03-5467-0431
info@amadana.com

付属品

■ビデオコード（黄色）

■光接続コード（角型プラグ）

■リモコン

CR202AV
※DDA-134をお買い上げの方

カードリモコン
※DD-134をお買い上げの方

■取扱説明書（本書）
■カスタマー登録用紙
■保証書
※保証書は梱包箱に別途添付してあります。

安全上のご注意

このたびは *amadana* DVDプレーヤーをお買い求めいただきまして、誠に有り難うございます。
ご使用の前に必ず本書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。また、ご使用中にわからないことやトラブルが生じた時のために、お読みになった後は必ず保存してください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。
表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告　人が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示した項目です。	⚠注意　人が傷害を負ったり、物的傷害の想定される内容を示した項目です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。	この表示は、してはいけない「禁止」内容です。

安全上のご注意

交流100ボルトの電圧で使用する

この機器は交流100ボルト専用です。
指定の電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

船舶などの直流(DC)電源に接続しない

火災の原因となります。

通風孔をふさがない

■あおむけや横倒し、逆さまにして使用しないでください。
■布を掛けたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用しないでください。
■風通しの悪い所で使用しないでください。
通気孔がふさがると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室など湿気の高いところや水はねのある場所では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

水をかけたりぬらしたりしない

火災・感電の原因となります。
雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となります。

電源コードを傷つけない

■電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステープルや釘などで固定したりしないでください。
■電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしたりしないでください。
コードを敷物などで覆ってしまうと、気づかずに重いものをのせてしまうことがあります。
コードが傷つき、火災・感電の原因になります。

電源コードが傷ついたら(芯線の露出、断線など)販売店またはお客様サポートセンターに交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

異常が起きた場合は電源プラグを抜く

内部に水や異物が入ったり、煙が出たり、変な臭いや音がしたりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙や異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。

雷が鳴り始めたらアンテナ線や電源プラグには触れない

感電の原因となります。

電源プラグを定期的に清掃する

電源プラグにほこりなどが付着していると、湿気等により絶縁が悪くなり、火災・感電の原因となります。
電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。

機器の上に花びんやコップなど液体の入った容器を置かない

液体がこぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。

機器の内部に水や異物を入れない

機器の通気孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。

機器の上にろうそくやランプなどの火のついた物を置かない

本機のカバーやパネルにはプラスチックが使われており、燃え移ると火災の原因となります。

落下した機器は電源プラグを抜く

内部に水や異物が入ったり、煙が出たり、変な臭いや音がしたりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

電池は乳幼児の手の届かないところに置く

電池をあやまって飲み込むおそれがあります。ボタン電池など小型の電池は特にご注意ください。
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

乾電池は充電しない

電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

内部に異物を入れない

通風孔・ディスク挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはお客様サポートセンターにご連絡ください。

安全上のご注意

警告

機器のケースを開けたり改造したりしない

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。
点検、修理は販売店またはお客様サポートセンターにご依頼ください。

注意

ディスク挿入口に手を入れない

手がはさまれて、けがの原因となることがあります。
特にお子様にはご注意ください。

レーザー光源をのぞき込まない

レーザー光が目に当たると、視力障害を起こすことがあります。

電源コードを熱器具に近づけない

電源コードを熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近づけないでください。
コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない

油煙や湯気の当たる調理台や加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所に置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

温度の高い場所に置かない

窓を閉めきった自動車の中や直射日光があたる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。
本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着したりして、火災の原因となることがあります。
また、電源プラグの刃に触れると、感電の原因となることがあります。
電源プラグを根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントの場合には、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

長期間使用しないときは電源プラグを抜く

旅行などで長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。

移動させるときは電源プラグを抜く

移動させるときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、接続コードを外してください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

お手入れの際は電源プラグを抜く

お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

機器の接続は取扱説明書に従う

関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。また、接続は指定のコードを使用してください。
あやまった接続、指定以外のコードの使用、コードの延長をすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

機器の上に重い物や外枠からはみ出るような大きな物を置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

機器に乗らない

機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。
特にお子様にはご注意ください。
倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

はじめから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て、聴力傷害などの原因となることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。

安全上のご注意

アンテナ工事は販売店に相談する

工事には、技術と経験が必要です。
アンテナは総配電線から離れた場所に設置してください。
アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

長時間音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

電池の取り扱いに注意する

次のことを必ず守ってください。
- ■極性表示（プラス"＋"マイナス"ー"の向き）に注意し、表示通りに入れてください。
- ■指定の電池を使用してください。
- ■使い切ったときや、長期間使用しないときは、取り出しておいてください。
- ■新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- ■違う種類の電池を混ぜて使用しないでください。
- ■電池は地要した加熱したり、分解したり、火や水の中に入れたりしないでください。

電池は誤った使い方をすると、破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。
電池を入れたままにしておくとしておくと、過放電により液もれ、けがややけどの原因となることがあります。
液がもれた場合は、点検、修理をご依頼ください。
万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

ひび割れディスクは使わない

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

定期的に内部の点検、清掃をする

５年に１度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。販売店、またはお客様サポートセンターに費用を含めご相談ください。
内部にほこりのたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。

耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聞かない

聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。

使用できるディスクについて

再生できるディスクの方式と種類

本機で再生できるディスクは下記の種類です。
ディスクのロゴマークはディスクのレーベル、またはジャケットについています。

再生できるディスク	DVD VIDEO	CD(CD-R、CD-RW)	VCD(SVCD)
ディスクに表示されているロゴマーク	DVD VIDEO / DVD VIDEO	COMPACT disc Recordable / COMPACT disc DIGITAL AUDIO / COMPACT disc ReWritable	COMPACT disc DIGITAL VIDEO / COMPACT disc SUPER VIDEO
ディスクの大きさ	12cmのみ		
記録されているもの	デジタル音声 ＋ デジタル映像 (MPEG2方法)	デジタル音声 MP3 デジタル画像 (JPEG方式)	デジタル音声 ＋ デジタル映像 (MPEG1方法)

⚠注意	８cmディスクには対応しておりません。 故障の原因となるので、ご使用にならないでください。

下記のディスクは再生できません

- リージョン番号が「2」または「ALL」以外のDVD
- DVDオーディオ※３
- DVD-ROM/RAM
- SACD
- CD-ROM(MP3、JPEGファイルは再生可能)
- VSD
- CDV(オーディオパートのみ再生できます。)
- CD-G(音声は出力されますが、画像は出力されません。)
- フォトCD
  など

※１：DVDビデオ、ビデオCDの中には、ソフト製作者の意図により、本書の説明通りに動作しないディスクがあります。
※２：CD-R/RWは、記録状態によっては再生できない場合があります。
※３：DVDオーディオは、DVDビデオ規格のビデオパートのみ再生できます。

DVDディスクに表示されている各種のアイコン(絵表示)について

アイコン	ALL	8	32	9	16:9 LB
内容	再生可能な地域番号(リージョンコード)を示します。 本機のリージョンコードは「２」です。	オーディオ機能の言語数を示します。アイコン中に表示されている数字が言語数を表します。(最大8ヶ国語)	サブタイトル機能の字幕言語数を示します。アイコン中に表示されている数字が言語数を表します。(最大32ヶ国語)	アングル機能のアングル数を示します。アイコン中に表示されている数字がアングル数を表します。(最大9アングル)	選ぶことのできるアスペクト比を示します。左の例では16:9の映像からレターボックスに変換できることを表しています。

ビデオフォーマットについて

リージョンコード

本機の地域番号(リージョンコード)

DVDでは、国ごとに割り当てられた地域番号(リージョンコード)が定められており、DVDディスクに表示されている地域番号(リージョンコード)と一致しないと再生できません。

本機で再生できるDVDディスクの地域番号について

本機で再生できるDVDディスクは、本機の地域番号(リージョンコード)と一致した番号"2"が表示されているディスク、または本機の地域番号(リージョンコード)の含まれた表示のあるディスク、下の"ALL"表示のあるディスクのみです。また地域番号(リージョンコード)の表示のないディスクでも、制限がある場合があり、本機で再生できないことがあります。

ディスクの違いによる制限について

DVD、VCDは、ソフト制作者の意図により、再生状態が決められていることがあります。本機では、ソフト制作者が意図したディスクの内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずお読みください。

テレビ画面のビデオフォーマットについて

テレビ画面のビデオフォーマット

テレビの画面表示方式およびディスクの信号方式には大きく分けて二つのタイプ(PAL/NTSC)があり、国や地域によって違います。(下図参照)このため、お使いになるテレビの方式(国や地域)に合わせて、ディスクを選ぶ必要があります。

TVの方式	主な国や地域
NTSC	日本、台湾、韓国、アメリカ、カナダ、メキシコ、フィリピン、チリ・・・など
PAL	中国、北朝鮮、イギリス、ドイツ、オーストラリア、ニュージーランド、クウェート、シンガポール・・・など

DVD/VCDディスクのビデオフォーマットの設定

通常日本国内で使用する場合はテレビの方式、販売されているディスクともにNTSC方式ですが、本機はビデオフォーマットを切り換えることができます。初期設定はNTSCです。

知っておきましょう

メンテナンス

セットのお手入れ

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

接点復活剤について

接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

参考

ディスク取扱上のご注意

取り扱い

再生面にふれないように持ってください。
再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

お手入れ

ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。

保存

長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

異常なディスクは使用しない

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。特殊形状やひび、欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

ディスクアクセサリーについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー(スタビライザー、保護シート、保護リングなど)は故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

CD-R/CD-RW/DVD-R/DVD-RW ディスクについて

レーベル面に印刷可能なCD-R/CD-RW/DVD-R/DVD-RWを使用すると、レーベル面が貼り付いてディスクの取り出しができないことがあります。本機の故障の原因となるため、このようなディスクは使用しないでください。

CDディスクのご注意

レーベル面にCOMPACT discのマークが入ったディスクをご使用ください。このマークが入っていないディスクは正しく再生できない場合があります。

レンタルディスク、中古ディスクの取り扱いについて

右図の様にシールが貼られているディスクはご使用にならないでください。シールからのりがはみ出している場合があり、ディスクが取り出せなくなる恐れがあります。
シール類をはがした後、のりがラベル面に残っていると故障の原因になります。のりのベタつきがある場合、必ずふき取ってからご使用ください。

輸送時または移動時のご注意

本機を輸送するときや、移動するときは、下記の操作を行って、ディスクの入っていないことを確かめてください。

1 POWERをオンにします。
2 数秒待って、表示部が下の表示になったことを確かめてください。
  “NO DISC”
3 POWERボタンを押し、電源をオフにします。

結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴(露)が付くことがあります。この現象が起きますと、本機が正常に動作しないことがあります。このようなときには、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。
次のような状態のときは、特に結露にご注意ください。

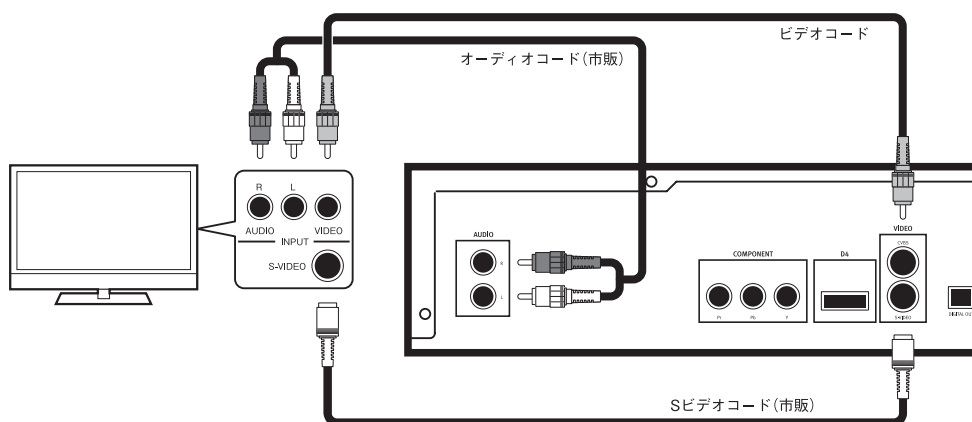
- 気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋など。

接続のしかた

下図のように接続してください。
また接続するときは、関連機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

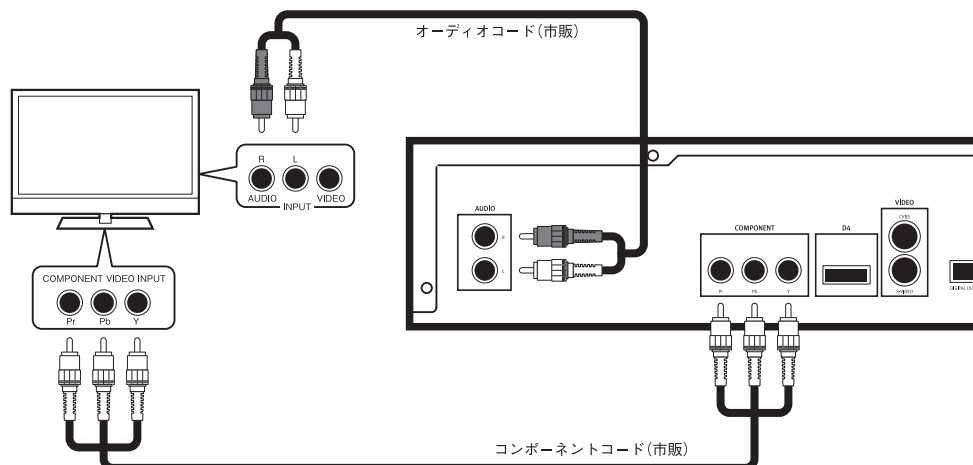
■ 接続が終了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。また、接続を変更する場合も電源コードをコンセントから抜いて、接続の変更を行ってください。
■ 左右のチャンネルを確かめてから正しくLとL、RとRを接続してください。
■ 電源プラグはしっかり差し込んでください。不完全な差し込みは雑音発生の原因となります。
■ 電源コードと接続コードを一緒に束ねると、ノイズの原因となることがあります。

標準ビデオ入力端子（コンポジット端子）のあるテレビとの接続

※Sビデオコード、またはビデオコードのどちらか一方を接続してください。

■ 本機の映像出力は直接テレビに接続するか、AVアンプを経由してテレビに接続してください。
VTR（ビデオテープレコーダ）経由で接続しないでください。
（ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクをVTRを通して再生するとコピーガードシステムにより、画面が乱れることがあります。）
■ ワイドテレビと接続する場合は、「初期設定」で「VIDEO SET UP」の「TV TYPE」を「ワイド」に設定してください。
また、通常のテレビと接続する場合は「4：3 PS」、または「4：3 LB」に設定してください。
（24ページ参照。なお、工場出荷時は「4：3 PS」に設定されています。）
■ 4:3画面サイズのDVD、静止画ファイル（JPEG）、ビデオCDを再生して画像が横長などになったときは、
ワイドテレビ側で画面サイズを調整してください。
■ ディスプレイのP-SCANが消灯している事を確認してください。
もし、P-SCANが点灯している場合は、リモコンのP-SCANボタンを押して消灯させてください。

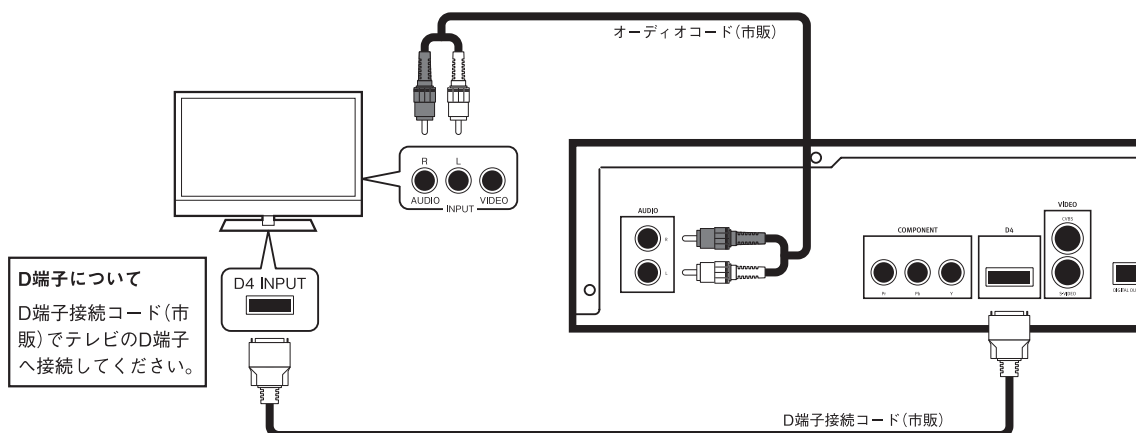
接続のしかた

コンポーネントビデオ入力端子のあるテレビとの接続する

ご使用のテレビやモニタにより本機の端子名称と異なる場合があります。(Y、Cb、Cr、Y、B-Y、R-Yなど)
インタレース(525i)、プログレッシブ(525p)に対応していないハイビジョンテレビのコンポーネント入力端子には接続しないでください。(詳しくは、接続するハイビジョンテレビの取扱説明書を参照ください。)

D端子付きテレビ / モニタと接続する

■ お使いのテレビがプログレッシブスキャンに対応しているときは、付属リモコンのP-SCANボタンを押しディスプレイ中の「P-SCAN」を点灯させてください。D端子に接続するとチラツキの少ない高画質な映像で再生できます。(「P-SCAN」点灯中は、映像出力(VIDEO OUT)およびS映像出力(S-VIDEO OUT)からは、映像出力されません)
■ P-SCANボタンは「初期設定」の「VIDEO SET UP」中の「TV TYPE」がNTSCに設定されている場合に有効になります。(24ページ参照)

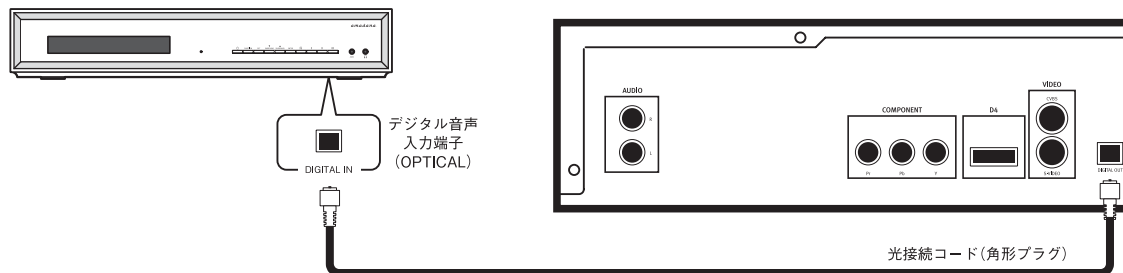
D端子について

D端子接続コード(市販)でテレビのD端子へ接続してください。

ご注意

■ ワイドテレビと接続する場合は「初期設定」で「VIDEO SETUP」の「TV TYPE」をワイドに設定してください。また、通常のテレビと接続する場合は「4:3 PS」または、「4:3 LB」に設定してください。(24ページ参照。なお、工場出荷時は「4:3 PS」に設定されています。)
■ 本機のプログレッシブ出力(525p)は、マクロビジョンコピーガード方式に対応しています。プログレッシブテレビによっては、本機のプログレッシブ出力に対応しておらず、映像に悪影響が生じる可能性があります。プログレッシブ映像出力においてこのような問題が起きた場合は、リモコン部のP-SCANボタンを押しディスプレイ中の「P-SCAN」を消灯させてください。
■ D端子(D2、4)のみ、プログレッシブ映像出力とインターレース映像出力を切り替えることができます。映像出力(VIDEO OUT)及びS映像出力(S-VIDEO OUT)に対してプログレッシブ映像出力は設定できません。
■ DTSで収録されたDVDを再生したとき、本機のAUDIO OUTからは音声は出力されません。

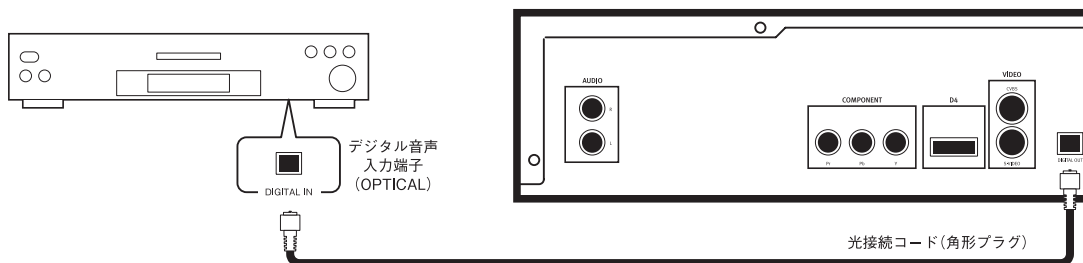
接続のしかた

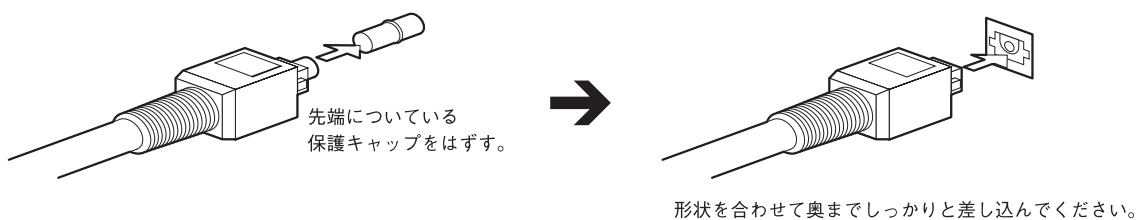
デコーダ内蔵のサラウンドアンプとデジタル接続する

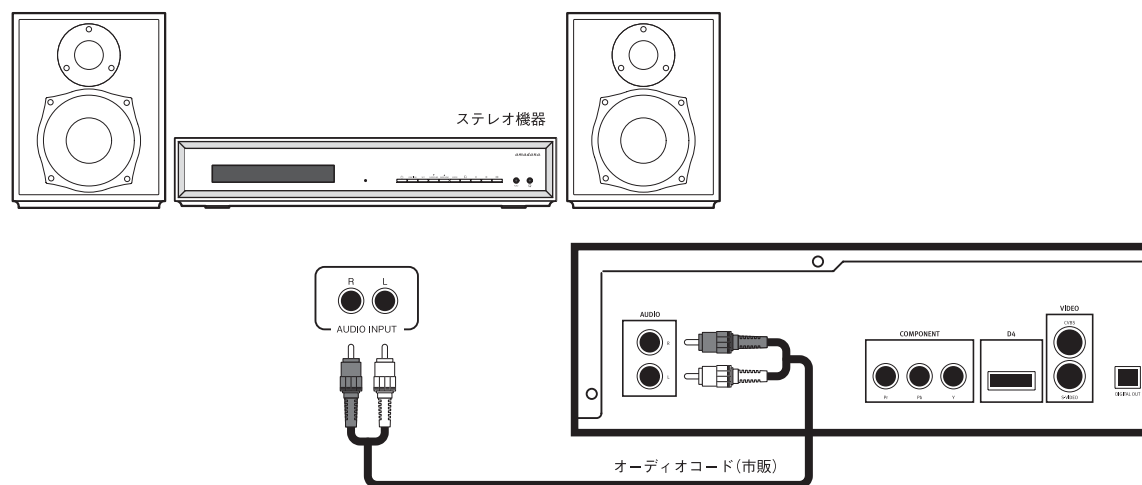
ドルビーデジタルで収録されたDVDの再生時は、本機のデジタル音声出力端子からドルビーデジタルのビットストリームが出力されます。ドルビーデジタルデコーダ内蔵のサラウンドアンプに接続することで、映画館やホールにいるような迫力と臨場感ある音声で楽しむことができます。

ご注意

■ 著作権保護処理がされたリニアPCMのDVDを再生する場合は、48kHz/16bitを超えるソースは著作権への配慮からデジタル出力されません。アナログ接続をおこなってください。(14ページ参照)

MDレコーダーやDATデッキなどのデジタル録音機器と接続する

※「初期設定」で「AUDIO SET UP」の「AUDIO OUT」を「SPDIF / PCM」に設定してください。(23ページ参照)

※デジタル音声端子(OPTICAL)に光接続コード(付属)接続するときは

形状を合わせて奥までしっかりと差し込んでください。

接続のしかた

ステレオ機器と接続する

接続のしかた

本機のデジタル音声出力端子から出力される音声について

■ビットストリーム出力の場合（SPDIF / RAW）

		設定:デジタル出力	
	音声記録方式	NORMAL	PCM変換
DVDビデオ	ドルビーデジタル DOLBY DIGITAL	ドルビーデジタル ビットストリーム	2チャンネルPCM （48kHz / 16bit）

■PCM出力の場合（SPDIF / PCM）

			設定:デジタル出力		
	音声記録方式		96K		96k→48k
			著作権保護あり	著作権保護なし	
DVDビデオ	リニア PCM	48kHz / 16〜24bit	出力しない ※1	48kHz / 16〜24bit	48kHz / 16 bit PCM
		96kHz / 16〜24bit	出力しない ※2	96kHz / 16〜24bit	48kHz / 16 bit PCM
ビデオCD	MPEG1		44.1kHz / 16 bit PCM		44.1kHz / 16 bit PCM
音楽CD	44.1kHz / 16bit リニアPCM		44.1kHz / 16 bit PCM		44.1kHz / 16 bit PCM

※1:48kHz / 16bit のソースは出力されます。
※2:48kHz / 16bit として出力されます。
■マルチチャンネルのPCMソースについては2チャンネルにダウンミックスされます。
（ダウンミックスが禁止されているソースでは、FL / FRのみ出力されます。）

ビットストリームとは

圧縮され、デジタルに置き換えられた信号です。
デコーダによって5.1chなどのマルチチャンネル音声にデコード（復号）されます。

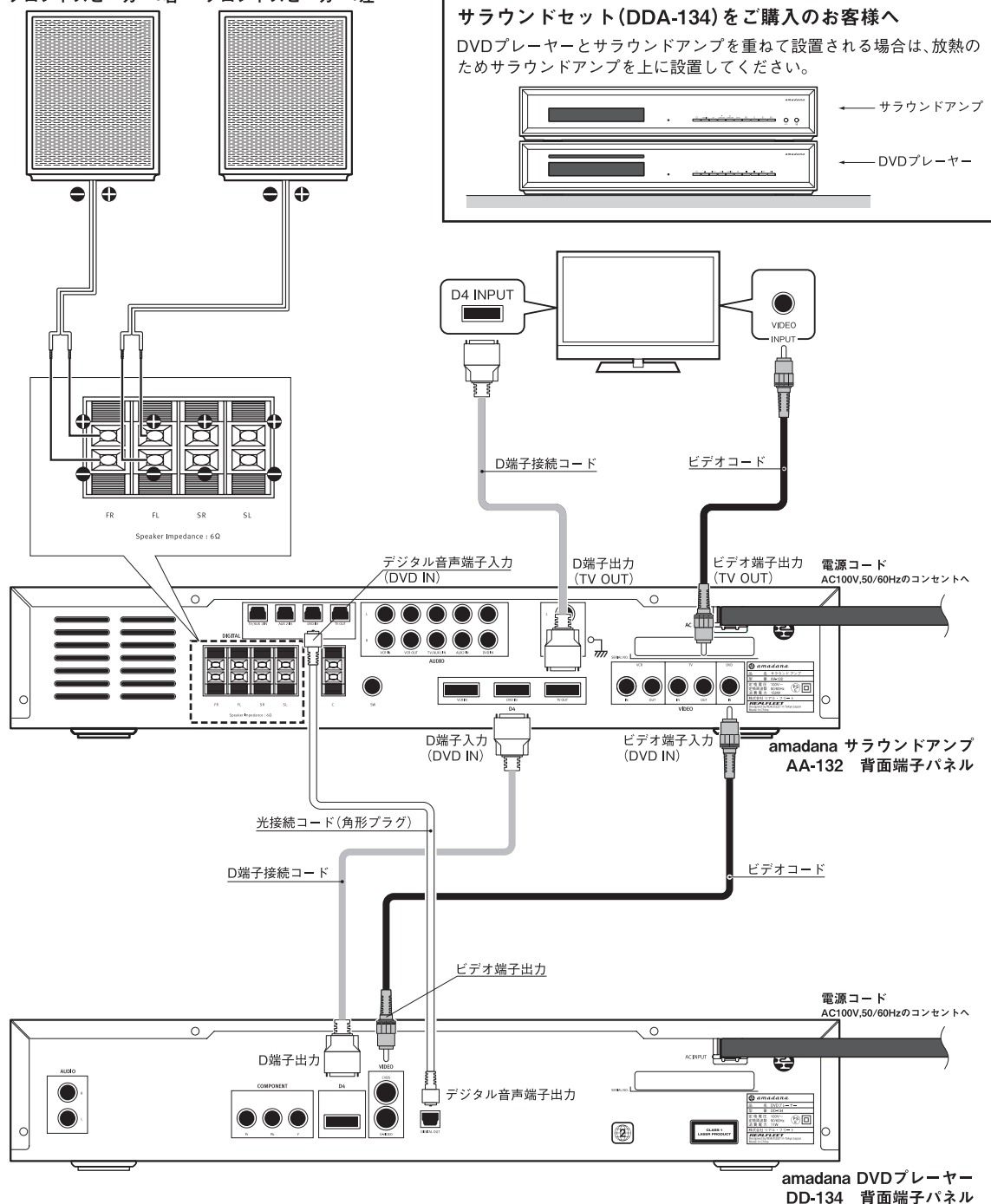
リニアPCM（LPCM）とは

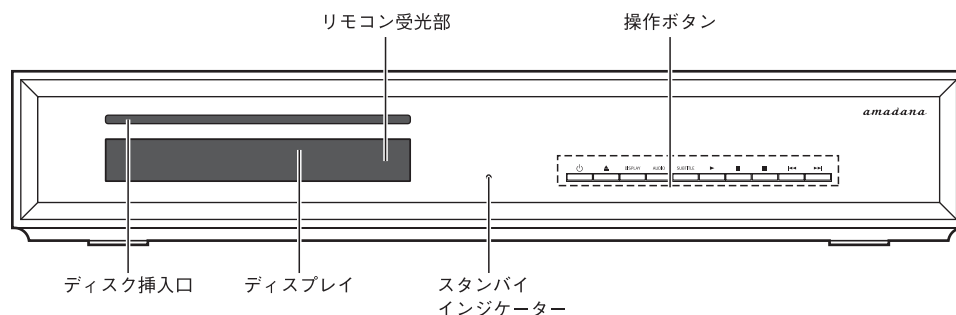
圧縮せずにデジタルに置き換えられた音声信号です。（音楽CDに用いられている信号記録方式です。）
音楽CDでは44.1kHz/16bitで記録されているのに対し、DVDでは44.1kHz/16bit〜96kHz/24bitで記録されていますので、音楽CDよりも高音質の再生が可能です。

サラウンドセット（DDA-134）をご購入された場合の接続のしかた

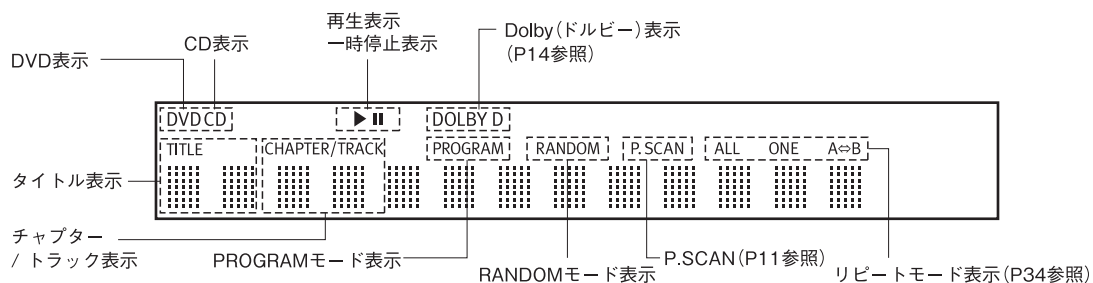
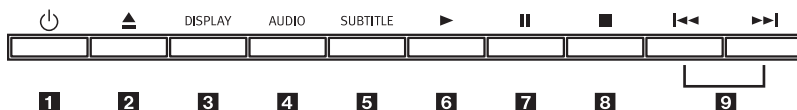
サラウンドセット（DDA-134）をご購入されたお客様は、お使いのテレビの映像入力方式に合わせて、下記の図を参考に接続してください。

映像端子の接続について

標準ビデオ入力端子のテレビと接続する場合　：下図の■■の配線のように市販のビデオコードで接続してください。
D端子のテレビと接続する場合　：下図の■■の配線のように市販のD端子接続コードで接続してください。
※どちらか一方のみ接続してください。故障、ノイズの原因となります。
※どちらの接続の場合でも音声端子の接続は光接続コード（角形プラグ）で接続してください。

各部のなまえとはたらき

■ フロントパネル

スタンバイ状態について

本機のスタンバイインジケーターが青色に点灯中は、メモリー保護のため、微弱な通電を行っています。これをスタンバイ状態といいます。このとき、リモコンで本機をオンできます

■ ディスプレイ表示詳細

■ 操作ボタン詳細

1 POWER（電源） ボタン（P26参照）
電源をONまたはSTANDBYに切り替えます。

2 EJECT ボタン
ディスクを取り出します。

3 DISPLAY ボタン（P25参照）
ON-SCREEN画面の表示をします。

4 AUDIO ボタン（P32参照）
DVDの場合は音声言語を切り替えます。
また、ビデオCDの場合はLR/L/Rを切り替えます。

5 SUBTITLE ボタン（P32参照）
DVDの字幕言語を切り替えます。

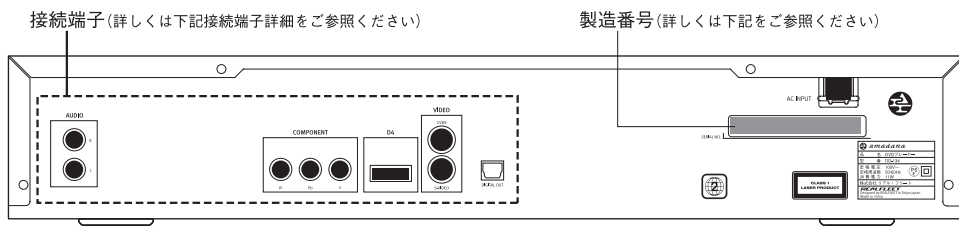
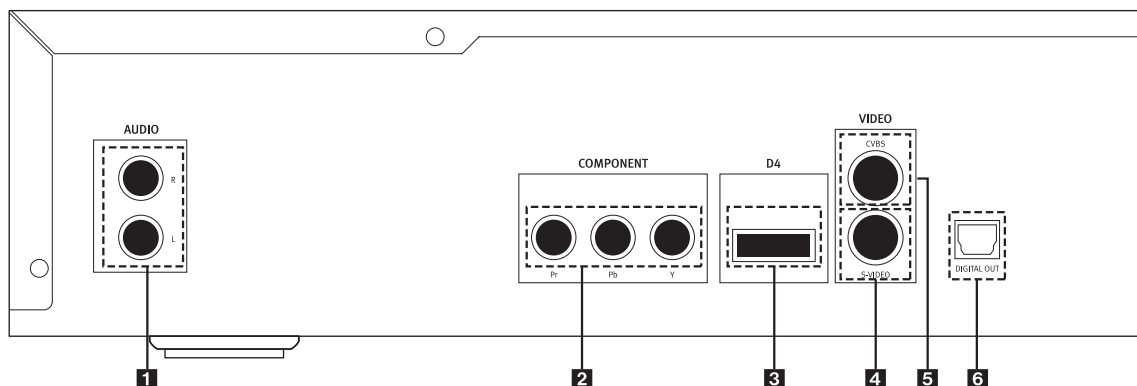
6 再生 ボタン（P26参照）
ディスクを再生します。

7 一時停止 ボタン（P27参照）
映像や音楽を一時的に止めたり、コマ送り再生をします。

8 停止 ボタン（P27参照）
映像や音楽の再生を止めます。

9 SKIP ボタン（P28、29参照）
映像や音楽の頭出しをします。
また、1秒長押しする事で、サーチの速度を選べます。

各部のなまえとはたらき

■ リアパネル

■ 接続端子詳細

1 アナログ2チャンネル音声出力端子(AUDIO OUT)
オーディオコード(市販)を接続します

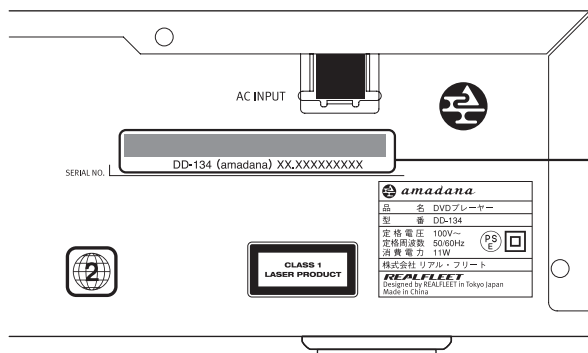
2 コンポーネント出力端子
コンポーネントコード(市販)を接続します

3 D4端子(D4)
D端子接続コード(市販)を接続します

4 S映像出力端子(S-VIDEO OUT)
Sビデオコード(市販)を接続します

5 映像出力端子(VIDEO OUT)
ビデオコード(付属)を接続します

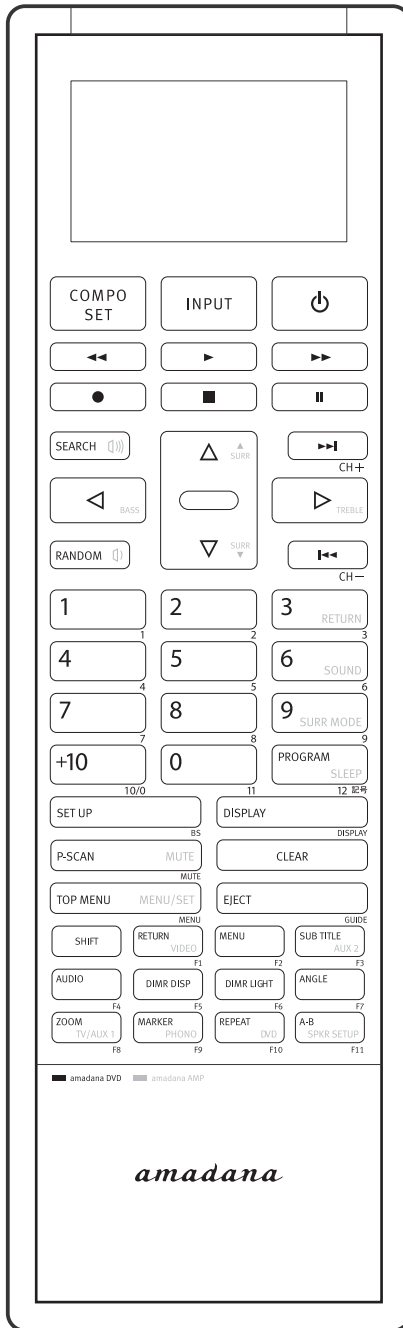
6 デジタル音声出力端子(OPTICAL)
光接続コード(付属)を接続します

■ 製造番号詳細

リモコンの操作

本体と同じ名前のリモコンボタンは本体と同じ働きをします。
お客様がお買い上げの商品によりカードリモコンまたはマルチリモコンのどちらかが付属しています。

DD-134をお買い上げの方

このリモコンは、amadanaスーパーマルチリモコン（別売）への学習用機器として付属しています。このリモコンによる本体の操作は可能ですが、より便利に、より快適にご使用いただくには、amadanaスーパーマルチリモコンのご使用を推奨いたします。

DDA-134をお買い上げの方

amadanaスーパーマルチリモコン
サラウンドセット専用モデル
型名：CR-202AV

リモコンの操作

POWER（電源）ボタン
電源をONまたはSTANDBYに切り替えます。

PROGRAM ボタン
プログラム再生を行います。

DISPLAY ボタン
ON-SCREEN画面の切り替えを行います。

EJECT ボタン
ディスクを取り出します。

SLOW/SEARCH ボタン
早送り/早戻りをしたり、スロー再生をします。

SKIP ボタン
映像や音楽の頭出しをします。

停止 ボタン
映像や音楽の再生を止めます。

再生 ボタン
映像や音楽の再生をします。

一時停止 ボタン
映像や音楽を一時的に止めたり、コマ送り再生をします。

AUDIO ボタン
DVDの場合は音声言語を切り替えます。
ビデオCDの場合は LR / L / R を切り替えます。

SUBTITLE ボタン
DVDの字幕言語を切り替えます。

DIMMER DISPLAY ボタン
ディスプレイの明るさを調節します。

DIMMER LIGHT ボタン
インテリアライトの明るさを調節します。

ZOOM ボタン
映像を拡大するときに押します。

TOP MENU ボタン
ディスクに収録されているトップメニューを表示します。

RETURN ボタン
メニューを一つ手前に戻します。

ANGLE ボタン
DVDのアングルを切り替えます。

カーソル 上 (▲), 下 (▼), 左 (◀), 右 (▶) ボタン
上下方向の選択をするときは▲▼を押します。
左右方向に選択するときは ◀▶ を押します。

ENTER ボタン
選んだ項目を決定するとき押します。

REPEAT ボタン
くり返し再生します。

MENU ボタン
ディスクに収録されているルートメニューを表示します。

SEARCH ボタン
タイトル、トラック、チャプターを指定して再生することができます。

RANDOM ボタン
ランダム再生をおこなうときに押します。

番号ボタン
数字を入力します。
10以上の数字を入力するときは＋10ボタンを使用します。
【例】25を入力するとき(+10) →(+10) →(5)

A-B リピートボタン
指定した2点間をくり返し再生します。

CLEAR ボタン
入力された数字を取り消します。

MARKER ボタン
ブックマークを使用する際に押します。

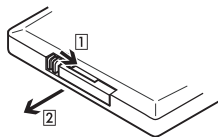
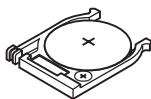
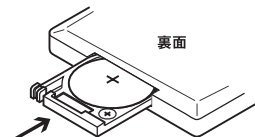
SETUP ボタン
初期設定画面を表示します。

PROGRESSIVE SCAN ボタン
プログレッシブ映像の出力設定をするときに押します。

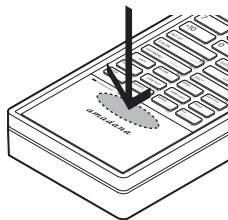
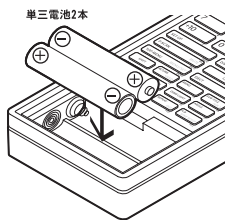
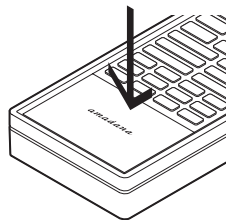
付属リモコンについて

電池の入れかた

■ カードリモコン

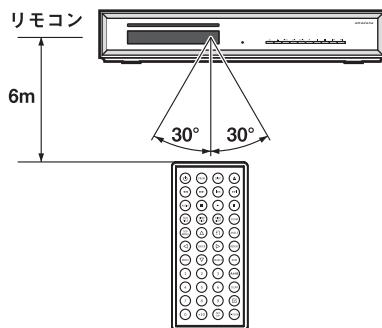
1 電池カバーをはずす

2 ボタン電池を入れる
※ CR2025を極性表示に合わせて入れる

3 電池カバーを取り付ける

※ご購入後、初めてご使用になるときは、ふたのところに絶縁シートが挟まっていますので、引き抜いてからご使用ください。

■ スーパーマルチリモコン（CR-202AV）

1 電池カバーをはずす
「amadana」ロゴの上を押し、
カバーをはずしてください

2 乾電池を入れる
※付属の乾電池はお試し用です

3 電池カバーを取り付ける
「amadana」ロゴの上を押し、
カバーを取り付けて下さい

操作の仕方

本体の電源プラグをコンセントに差し込み、本体のON/STANDBYボタンまたはリモコンのPOWERボタンを押すと、電源がオンになります。電源がオンになったら、操作したいキーを押します。
電源をオフにするときは、再度ON/STANDBYボタンまたはPOWERボタンを押します。

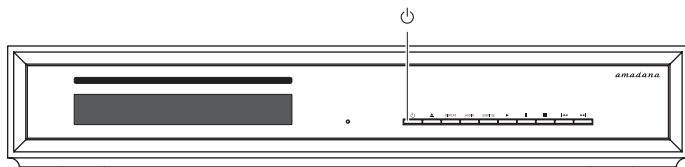
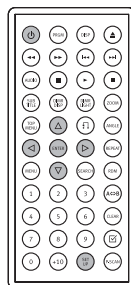
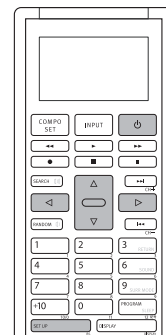
※リモコンの各操作ボタンを押してから次のボタンを押すときは、約１秒以上の間隔をあけて確実に押してください。

スーパーマルチリモコンでの操作の際はCOMPO SETを押し、液晶に"DVD"を表示させてからご使用ください。詳しくは巻末のスーパーマルチリモコン取扱説明書A-05ページをご参照ください。

※ 付属の乾電池は、動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。ご了承ください。
※ 操作できる距離が短くなったら、新しい電池と交換してください。
※ リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバーター方式等）の蛍光灯の光が当ると、正しく動作しないことがあります。
このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。
※ リモコンのボタンを押して、テレビ画面もしくはディスプレイに「INVALID KEY」と表示された場合は、そのボタンは無効です。

DDA-134をご購入のお客様へ
DDA-134をご購入の方には、付属のカードリモコンの代わりにスーパーマルチリモコン（CR-202AV）が付属します。スーパーマルチリモコン（CR-202AV）については本取扱説明書の巻末に記載されているCR-202AVの取扱説明書をご参照ください。

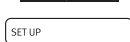
初期設定を変更する

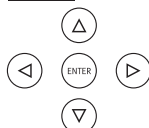
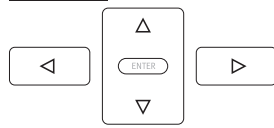
再生を始める前に、お客様のご使用状態に合わせて初期設定を行ってください。
初期設定は電源を切っても次に変更するまでは保持されます。

本　体

リモコン　　リモコン(CR-202AV)

グレー表示のボタンはこのページで使用するボタンです。

1 電源を入れる

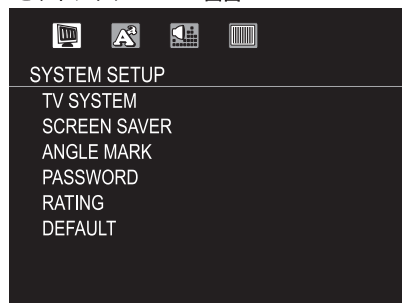
電源 ボタンを押して電源をオンにします。
スタンバイインジケーターが白に変わり、ディスプレイに amadana が表示されます。

2 初期設定(SET UP)画面を表示する

停止中にSET UPボタンを押します。

3 設定を変更する

カーソルで設定を変更し、ENTER ボタンで内容を確定します。

4 初期設定を終了する

SET UPボタンを押します。

セットアップメニュー画面

SYSTEM SETUP(システムセットアップ)
22ページ参照

LANGUAGE SETUP(言語設定)
23ページ参照

AUDIO SETUP(オーディオセットアップ)
23ページ参照

VIDEO SETUP(ビデオセットアップ)
24ページ参照

初期設定を変更する

SYSTEM SETUP（システムセットアップ）

■ TV SYSTEM（テレビシステム）

DVDの出力をテレビに映し出す場合に接続するテレビの種類を選択します。（初期設定は［NTSC］です。）

NTSC DVDプレーヤーの出力信号をNTSCのテレビに接続する場合はこの設定を選びます。日本国内の映像方式は NTSC です。

PAL DVDプレーヤーの出力信号をPALに接続する場合はこの設定を選びます。

AUTO DVDプレーヤーの出力信号を接続先のテレビに自動であわせる場合はこの設定を選びます。

■ SCREEN SAVER（スクリーンセーバー）

使用していない間、表示されている文字などや画像がディスプレイに焼きつくのを防止します。（初期設定は［ON］です。）

ON 一定時間後にスクリーンセーバーを起動します。

OFF スクリーンセーバーを起動しません。

■ ANGLE MARK（アングルマーク）

ディスクによってはマルチアングル機能に対応したものがあります。マルチアングルシーンになった時、アングルマークが表示されます。
1つのアングルしか記録されていないディスクではこの機能は働きません。（初期設定は［ON］です。）

ON アングルマーク（ ）が、ディスプレイに表示されます。

OFF ディスプレイにアングルマークが表示されません。

■ PASSWORD（パスワード：暗証番号）

RATINGの変更を行う場合、またはパスワードの変更を行う場合に入力します。

（4桁の番号をリモコンから入力します。初期設定は3308です。）

パスワードを変更する場合

1 「3308」もしくは設定したパスワードを入力し、ENTER ボタンを押します。

2 新しいパスワードを入力してENTER ボタンを押します。

ロック

■ RATING（レーティング:視聴制限）

未成年に見せたくないDVDソフトなどの再生を制限する機能です。多くの場合、成人用ソフトにはDVDソフト自身に、視聴制限するレベルの設定がされています。（初期設定は8です）

視聴制限のレベルは1〜8までに分けられます。視聴制限の対応した ソフトはそのどれかのレベルに設定されています。
視聴制限レベルの設定は次のようにします。

1 「PASSWORD」を選択し、リモコンのカーソル右ボタン（▷）を押す。
パスワードを入力し、ロックを解除します。

2 「RATING」を選択し、リモコンのカーソル右ボタン（▷）を押す。
カーソル上下（△▽）ボタンで1〜8を選ぶ。

レベル1〜8：
レベル 8は全てのDVDが再生でき、レベル1は子供用のみ再生できます。

3 「PASSWORD」を選択し、リモコンのカーソル右ボタン（▷）を押す。
パスワードを入力し、ロックします。

■ DEFAULT（デフォルト）

各種設定を工場出荷時の設定へ戻します。

初期設定を変更する

LANGUAGE SETUP（言語設定）

■ OSD LANGUAGE（画面表示言語）

画面表示言語を英語、ドイツ語、スペイン語、フランス語、ポルトガル語から選ぶことが出来ます。
（初期設定は英語です）

■ AUDIO LANG（音声）

オーディオ言語を中国語、英語、日本語、フランス語、スペイン語、ポルトガル語、ラテン語、ドイツ語から選ぶことが出来ます。
（初期設定は英語です）

■ SUBTITLE LANG（字幕言語）

字幕言語を中国語、英語、日本語、フランス語、スペイン語、ポルトガル語、ドイツ語、OFF（非表示）から選ぶことが出来ます。
（初期設定は英語です）
ディスクによっては字幕を消すことが出来ない場合があります。

■ MENU LANG（メニュー言語）

DVDのメニュー画面の言語を中国語、英語、日本語、フランス語、スペイン語、ポルトガル語、ドイツ語、ラテン語から選ぶことが出来ます。
（初期設定は英語です）

AUDIO SETUP（音声設定）

■ AUDIO OUT（オーディオ出力）

デジタル音声出力の方式を選びます。初期設定はSPDIF / RAWです。

SPDIF/OFF（アナログ）	D端子、コンポーネントおよびOPTICAL JACKから信号は出ません。
SPDIF/RAW	ドルビーデジタル内蔵のAVアンプと接続したときに選びます。 ドルビーデジタルで記録されたDVDを再生したときは、ビットストリーム信号を出力します。 リニアPCMで記録されたディスクを再生したときはリニアPCMを出力します。
SPDIF/PCM	PCM出力するときに選びます。ドルビーデジタルで記録されたDVDを再生したときは、2チャンネルPCMに変換して出力されます。

■ DOWNMIX（ダウンミックス）

スピーカー用出力のダウンミックス方法を[Lt/Rt]、[Lo/Ro]の2種から選択できます。初期設定は[Lo/Ro]です。

Lt / Rt（混合モノラル）	本DVDプレーヤーをPro-logic（プロ・ロジック）デコーディング機能搭載の外部アンプに接続している場合、 本オプションを選択してください。
Lo / Ro（ステレオ）	ステレオサウンド効果として、前面左側、前面右側のスピーカーのみ使用したい場合は、 本オプションを選択してください。

■ DYNAMIC RANGE（ダイナミックレンジ）

ドルビーデジタル音声のDVDを再生するとき最大音量と最小音量の幅を圧縮します。夜中に静かに聞くときなどに使います。「オフ」のときは元の信号をそのまま出力します。それ以外は最大音量と最小音量の幅を圧縮します。2/8〜FULLは圧縮率を表しています。
この機能はドルビーデジタルのときのみ有効になります。

初期設定を変更する

VIDEO SETUP(ビデオセットアップ)

■ VIDEO(映像信号出力形式)

映像信号の出力形式を選択します。【COMPOSITE】【P-SCAN YPbPr】【S-VIDEO】のいずれかを選択します。
(初期設定はCOMPOSITEです)

ビデオコードで接続した場合	【COMPOSITE】を選んでください。
コンポーネントコードで接続した場合	【P-SCAN YPbPr】を選んでください。
D端子接続コードで接続した場合	【P-SCAN YPbPr】を選んでください。
Sビデオコードで接続した場合	【S-VIDEO】を選んでください。

■ TV TYPE(テレビタイプ)

画面表示の種類 (初期設定は[4:3PS]です)

4:3PS	パンスキャン	標準サイズのテレビに接続したときに選択します。16:9の映像は左右が切れます。 この形寸に対応していないディスクもあります。その際はレターボックスで表示します。
4:3LB	レターボックス	標準サイズのテレビに接続したときに選択します。16:9の映像は上下が切れます。
16:9	ワイド	16:9の画面表示を行います。ワイドテレビの際はこれを選んでください。

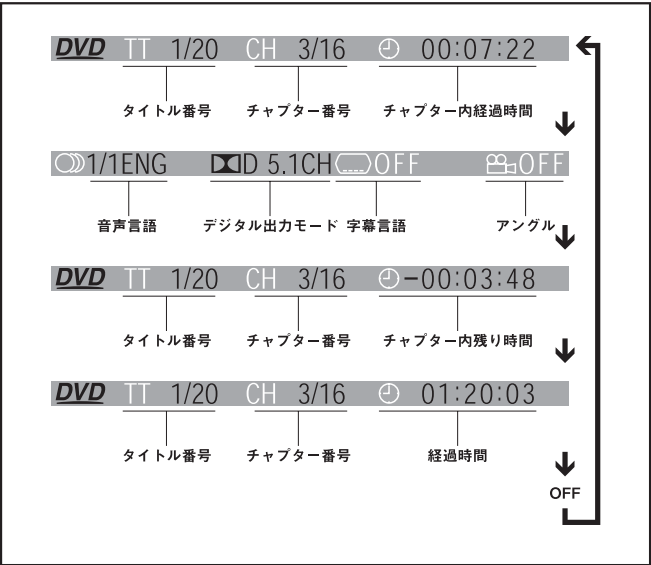
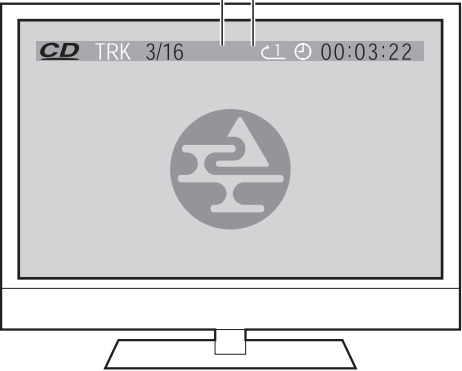
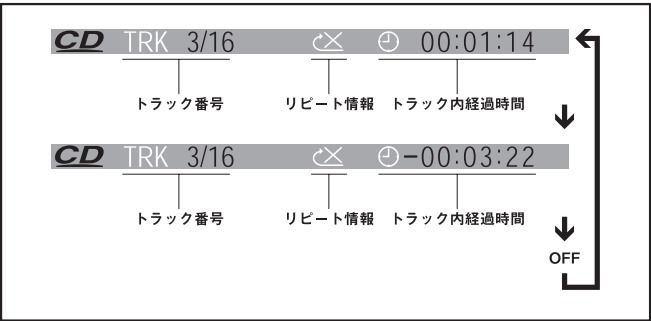
■ CLOSED CAPTION(クローズド・キャプション)

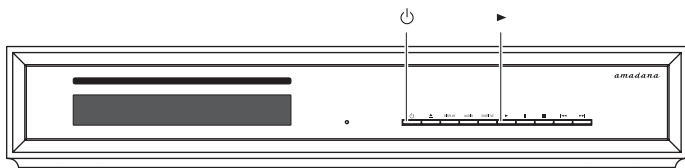
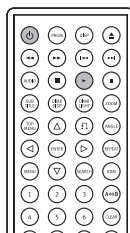
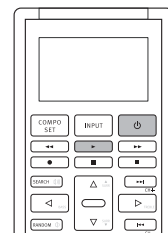
ディスクに記録されているクローズド・キャプションを表示することができます。
クローズド・キャプションとは聴覚障害者用に開発された字幕表示システムです。
※クローズド・キャプションを収録したDVDのみ、この設定は有効です。
(初期設定はOFF:非表示です)

■ SLIDE SHOW(スライド・ショー)

CDに記録されたデジタル画像(JPEG)をスライドショー表示する際の表示時間を設定します。

テレビ画面の情報表示について

ディスクの再生中に本体、またはリモコンのDISP(DISPLAY)ボタンを押すと、テレビ画面に様々なディスク情報を表示させることができます。

ディスクの再生

基本的な使いかた

グレー表示のボタンはこのページで
使用するボタンです。

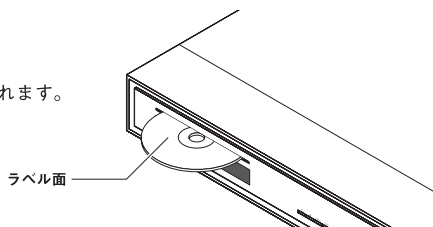
1 準備

POWER(電源)ボタンを押して電源をオンにします。
スタンバイインジケーターが白に変わり、ディスプレイに「amadana」と表示されます。

2 ディスクを入れる

ラベル面

ディスプレイに「NO DISC」と表示されているのを確認して、
ディスク挿入口からラベル面を上にしてディスクを入れます。

※12cmディスクのみ対応しています。
※ディスクを無理に押し込まないでください。
※挿入口に異物を入れないでください。
※逆挿入や非対応のディスクが挿入されたときはEJECTされます。

3 再生をする

再生ボタンを押すと再生が始まります。

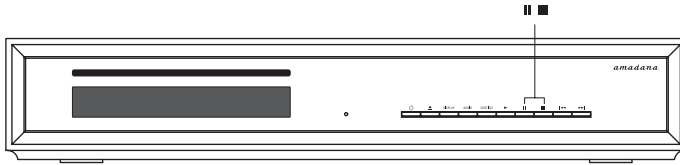
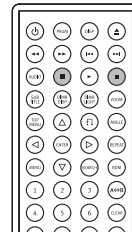
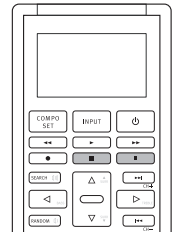
※ディスク再生までにしばらく時間がかかります。

メニュー画面が表示されたときは

対話型のDVDを再生するとメニュー画面が表示されます。
この場合、リモコンのカーソルボタンでメニューを選び、ENTERボタンを押して再生をスタートさせます。

メニュー画面がDVDに記録されている場合、リモコンのTOP MENUボタンを押すとメニュー画面が表示されます。
メニュー画面ではカーソルボタンでメニューを選択することができます。

ディスクの再生

基本的な使いかた

グレー表示のボタンはこのページで
使用するボタンです。

再生を止めるには

本 体　　リモコン　　リモコン(CR-202AV)

■

停止ボタンを押します。

RESUME（レジューム機能）【DVDビデオのみ】

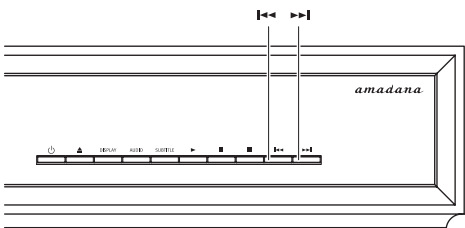
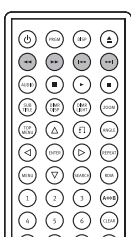
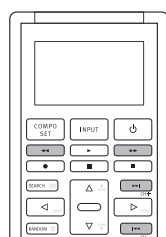
本機はディスクを再生して、途中でストップさせても最後に再生していたシーンから再生を始めます。
RESUME機能を使用しない場合は、ディスクの停止中にもう一度 ■（停止）ボタンを押すと記憶が消去されます。
レジューム時にはディスプレイ表示が「R-STOP」となります
※ディスクの通常再生が始まる前に電源を切った場合はRESUME機能は働きません。

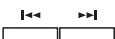
一時停止するには

一時停止ボタンを押します。
※一時停止を解除するときは再生ボタンを押してください。
　画面に「INVALID KEY」が表示されたときは、本体もしくはディスクがその操作を禁止しています。

ディスクの再生

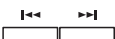
ディスクの色々な再生

※各説明の頭につくディスクマーク（ DVD CD VCD ）は、対応するディスクを表しています。
例： CD VCD → CDとVCDについての説明。DVDには対応していません。

グレー表示のボタンはこのページで使用するボタンです。

DVD CD VCD
チャプターや、トラック（曲）を飛び越す

・ボタンを押すごとにチャプターまたはトラック（曲）を飛び越して、選んだチャプターまたはトラック（曲）のはじめから再生を開始します。

・再生中に |◀◀ ボタンを1回押すと、そのチャプターまたはトラック（曲）の始めから再生を開始します。

・チャプターまたはトラック（曲）の開始後3秒以内に |◀◀ ボタンを押すと、前のチャプターまたはトラック（曲）のはじめから再生を開始します。
※ディスクがチャプターに分けられていない場合はチャプターの機能は働きません。
※映画などの始まりの画面などではスキップなどの再生機能は働きません。

DVD CD VCD
サーチ（早送り、早戻し）

1秒以上押す

1 再生中に本体の |◀◀ または ▶▶| ボタンを1秒以上押し続けます。リモコンの場合は ◀◀ または ▶▶ ボタンを短く押します。
2 |◀◀ または ▶▶| ボタンを繰り返し1秒以上押し続けて、サーチスピードを選びます。リモコンの場合は ◀◀ または ▶▶ ボタンを短く繰り返し押します。

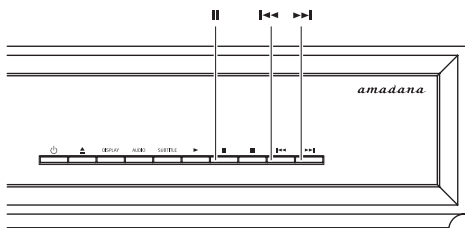
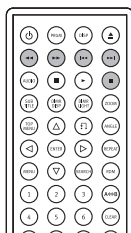
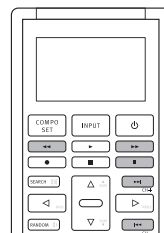
・押すごとにサーチスピードが切り換わります。

（DVD、CD、VCD）
FF x 2 または FR x 2
↓
FF x 4 または FR x 4
↓
FF x 8 または FR x 8
↓
FF x20 または FR x 20

・通常再生に戻るには ▶ ボタンを押します。
もしくは、FF x 20の時に再度 ▶▶| を押す。リモコンの場合は ▶▶ を押します。
※DVD、VCDの再生では音声が出ません。

ディスクの再生

ディスクの色々な再生

※各説明の頭につくディスクマーク（ DVD CD VCD ）は、対応するディスクを表しています。
例：CD VCD → CDとVCDについての説明。DVDには対応していません。

DVD VCD
コマ送り再生

・再生中に ❚❚（一時停止）ボタンを押します。
・ボタンを押すごとに1コマずつ再生します。
・通常再生に戻るには ► ボタンを押します。

DVD VCD
スロー再生

・一時停止中 ◄◄ または ►► ボタンを押します。
・通常再生に戻るには ► ボタンを押します。
・押すごとにスローのスピードが変わります。

（DVD再生時）

SF 1/2　または SB 1/2
↓
SF 1/3　または SB 1/3
↓
SF 1/4　または SB 1/4
↓
SF 1/5　または SB 1/5
↓
SF 1/6　または SB 1/6
↓
SF 1/7　または SB 1/7

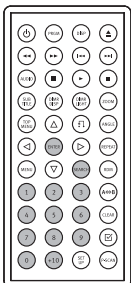
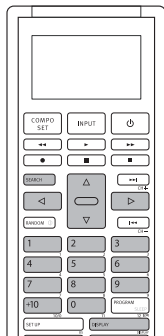
（VCD再生時）　※スロー戻しはできません

SF 1/2 (►► ボタン)
↓
SF 1/3 (►► ボタン)
↓
SF 1/4 (►► ボタン)
↓
SF 1/5 (►► ボタン)
↓
SF 1/6 (►► ボタン)
↓
SF 1/7 (►► ボタン)

ディスクの再生

ディスクの色々な再生

・DVD、VCDの再生でスキップ、サーチ、ステップやスロー再生中は音声が出ません。
・映画などの始まりの画面などでは働かないことがあります。

リモコン　　**リモコン(CR-202AV)**

グレー表示のボタンはこのページで使用するボタンです。

DVD　CD　VCD

好きなDVDのタイトルまたはCDのトラック(曲)から再生する

DVDビデオではディスクの内容が複数のタイトルに分けられており、タイトルのなかをさらに複数のチャプターに分けられています。
※映画など、DVDの内容によっては複数のタイトルや、チャプターに分けられていない場合もあります。

DVD再生時

1 再生中にリモコンのSEARCHボタンを押します。

リモコン　　**リモコン(CR-202AV)**

2 カーソル左右(◁ ▷)ボタンを押し、テレビ画面上のタイトルを選びます。

3 数字ボタンでタイトル番号を入力します。
間違えた場合は、修正した箇所をカーソル左右(◁ ▷)ボタンを押して選択し、再度数字ボタンで入力し直します。

リモコン　　**リモコン(CR-202AV)**

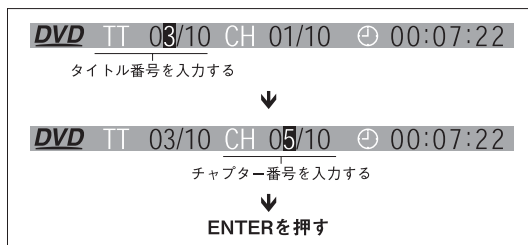
4 カーソル左右(◁ ▷)ボタンを押し、テレビ画面上のチャプターを選びます。

5 数字ボタンでチャプター番号を入力します。
間違えた場合は、修正した箇所をカーソル左右(◁ ▷)ボタンを押して選択し、再度数字ボタンで入力し直します。

リモコン　　**リモコン(CR-202AV)**

⓪ ～ ⑨

4 ENTERボタンを押して入力を確定します。
入力した時間から再生が始まります。

リモコン　　**リモコン(CR-202AV)**

CD / VCD 再生時

1 数字ボタンでトラック番号を選びます。
再生が始まります。
(例)トラック(曲番)14を選ぶとき：①④

※VCDは数字ボタンで選べない場合があります。

DVD VCD CD

ブックマーク機能を使う

ブックマーク(しおり)を付けておくと、すぐにその場所に飛び越すことができます。
ブックマークは5ヶ所まで付けることができます。

ブックマークを付ける

1 再生中にリモコンのMARKERボタンを押します。
・マーカーアイコンがテレビ画面上に表示されます。

リモコン
リモコン(CR-202AV)
2 マークをつけたいシーンにきたら、ENTERボタンを押します。
・◁ ▷ を押し、空いているところを選び、操作を繰り返すことにより、5ヶ所までマークすることができます。

3 MARKERを押すと、マーカーアイコンが隠れます。

ブックマークされたシーンを呼び出す

1 再生中にリモコンのMARKERボタンを押します。
・マーカーサーチアイコンがテレビ画面上に表示されます。

リモコン
リモコン(CR-202AV)
2 リモコンのカーソル左右(◁ ▷)ボタンを押して、呼び出したいブックマーク番号を選びます。

3 再生シーンを呼び出す場合は再生(►)ボタンを押してください。
※ディスクによってはブックマーク機能が働かないものがあります。

ブックマークを削除するには

・ディスクを取り出すか、または電源をオフにすると全てのブックマークが削除されます。また、上書きすると以前のブックマークは消去されます。

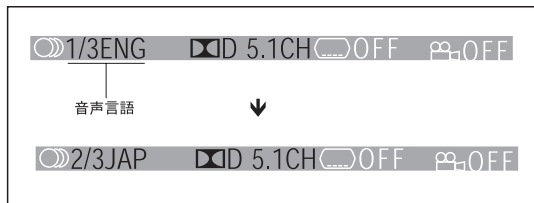
色々な再生機能

DVD

音声言語を切り替える

複数の音声言語が記録されているDVDは、再生中に音声言語を切り替えることができます。

1 再生中に本体、またはリモコンのAUDIOボタンを押します。

・リモコンのAUDIOボタンを押すごとに音声言語が順番に切り替わります。

※ディスクによっては再生中に音声言語を切り替えられない場合があります。この場合にはDVDメニューで選んでください。
※AUDIOボタンを数回押しても希望の言語にならないときは、その言語がディスクに記録されていません。

VCD

音声出力のチャンネルを切り換える

VCDの音声出力を左チャンネルだけ、右チャンネルだけ、またはステレオ出力に切り換えることができます。(音声多重カラオケなどに便利です。)

■再生中にリモコンもしくは本体のAUDIOボタンを押します。

•押すごとに次のように切り換わります。

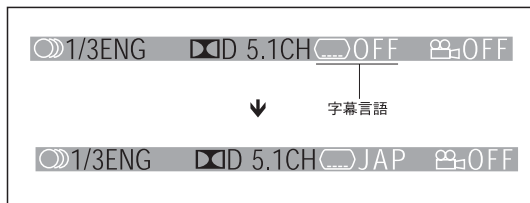
左側 ➔ 右側 ➔ ステレオ

DVD

字幕言語を切り替える

複数の字幕言語が記録されているDVDは、再生中に字幕言語を切り替えることができます。

1 再生中に本体、またはリモコンのSUBTITLEボタンを押します。

・リモコンのSUBTITLEボタンを押すごとに字幕言語が順番に切り替わります。

※SUBTITLEボタンを数回押しても希望の言語にならないときは、その言語がディスクに記録されていません。
※字幕言語を変更してからその言語が表示されるまでに多少時間がかかる場合があります。

色々な再生機能

DVD CD VCD

カメラアングルを切り替える

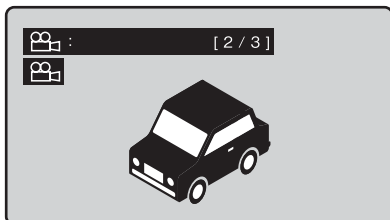
ディスクによってはマルチアングル機能に対応したものがあります。

1 再生中にリモコンの ANGLE ボタンを押します。

リモコン　リモコン(CR-202AV)

ANGLE　ANGLE

・複数のアングルで記録されたシーンではマルチアングルのマーク が表示されます。
（ANGLE MARK:ON設定、P22参照）

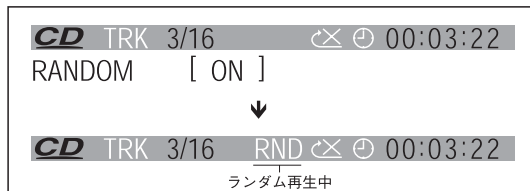
2 再度ANGLE ボタンを押すと次のアングルに移ります。

※1つのアングルしか記録されていないディスクではこの機能は働きません。

CD VCD

ランダム再生

ディスク内のトラック(曲)を順不同に再生することができます。

■ 再生中にリモコンのRANDOMボタンを押します。

・リモコンのRANDOMボタンを押すごとにランダムオン/オフが切り換わります。
►►❙ ボタンを押すと次のトラック(曲)をランダムに選択して再生を始めます。

また、本体ディスプレイに RANDOM が点灯します。

ランダム再生をやめるには

1 ■(停止)ボタンを押して再生を止めます。

2 RANDOM ボタンを押して、ランダム再生を消します。

色々な再生機能

DVD CD VCD
リピート再生

お好みのタイトル、チャプター、トラック(曲)またはディスク全体を繰り返し再生することができます。

DVD再生時
"チャプター ":再生中のチャプターを繰り返し再生
"タイトル":再生中のタイトルを繰り返し再生

CD/VCD 再生時
"トラック":再生中のトラックを繰り返し再生
"全体":再生中のディスク全体を繰り返し再生

1 再生中にリモコンのREPEATボタンを押します。

リモコン　リモコン(CR-202AV)

2 押すごとにリピートモードが切り換わります。

(DVD再生時)	テレビ画面	本体ディスプレイ
1 チャプター	↻1	ONE
2 タイトル	↻A	ALL
3 オフ(リピート解除)	↻✕	消灯

(CD/VCD再生時)	テレビ画面	本体ディスプレイ
1 1:トラック	↻1	ONE
2 ALL:全体	↻A	ALL
3 オフ(リピート解除)	↻✕	消灯

※リピート再生をやめるときは、REPEATボタンを押して、"オフ"を選びます

DVD VCD
ズーム機能

画像を拡大表示することができます。

1 再生中にリモコンのZOOMボタンを押します。

リモコン　リモコン(CR-202AV)

(DVD再生時)
1 2倍 に拡大
2 3倍 に拡大
3 4倍 に拡大
4 1/2 に縮小
5 1/3 に縮小
6 1/4 に縮小
7 通常サイズ

ZOOMボタンを押すごとに倍率が変わります。

※通常再生に戻るときは、ZOOMボタンを繰り返し押します。
※DVDソフトによってはズーム機能が働かない場合もあります。
※拡大すると画質が悪化したり、画像がぶれることがあります。

2 拡大表示中にリモコンのカーソル(◁ ▷ △ ▽)ボタンを押して、表示部分を移動させることができます。

DVD CD VCD
A-Bリピート再生

お好みの区間を繰り返し再生することができます。
開始部分(A部)から終了部分の(B部)まで繰り返します。

1 リピートを開始したい位置でリモコンのA-Bボタンを押します。

リモコン	リモコン(CR-202AV)	テレビ画面	本体ディスプレイ
A⇔B	A-B SPKR SETUP	REPEAT A-	A⇔B (点滅)

2 リピートを終了したい位置にきたらA-Bボタンを押します。AとBの区間を繰り返し再生します。

リモコン	リモコン(CR-202AV)	テレビ画面	本体ディスプレイ
A⇔B	A-B SPKR SETUP	REPEAT A-B	A⇔B (点灯)

※A-Bリピート再生を解除するときはA-Bボタンを押し、表示を消します。
※同じチャプター内でしか出来ません。

DVD
タイムサーチ機能を使う

時間を入力して再生を始めることができます。

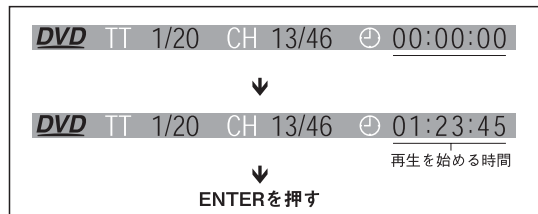
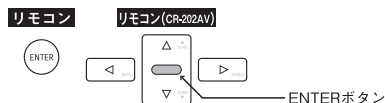
1 再生中にリモコンのSEARCHボタンを押します。

リモコン　リモコン(CR-202AV)

2 カーソル左右(◁ ▷)ボタンを押し、テレビ画面上のタイムサーチ(時間表示)を選びます。
"00:00:00" が表示されます。

3 再生を始める時間を数字ボタンで番号を選んで、「時」、「分」、「秒」の順で入力します。
間違えた場合は、修正したい箇所をカーソル左右(◁ ▷)ボタンを押して選択し、再度数字ボタンで入力し直します。

リモコン　リモコン(CR-202AV)

4 ENTERボタンを押して入力を確定します。
入力した時間から再生が始まります。

リモコン　リモコン(CR-202AV)

※テレビ画面に「INVALID KEY」と表示された場合は、選択した時間が間違っています。(ディスクに記録されていない時間など)
再度、入力し直してください。

CD **VCD**

プログラム再生

CDまたはVCDの好きなトラック（曲）を好きな順にプログラムして聞くことができます。（DVDでは働きません。）

プログラムをする

1 停止中にリモコンのプログラムボタンを押します。

リモコン　リモコン（CR-202AV）

2 カーソル上下左右（◁ ▷ △ ▽）ボタンを押し、1から順に再生したいトラックを数字キーで入力します。
例：11曲目　+10→1
（最大16トラックまでプログラム可能）

3 カーソルボタンを押し、PLAYを選択しリモコンのENTERボタンを押します。
選んだトラックからプログラム順に再生されます。
全てのプログラムされたトラックを１回再生して、停止します。

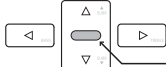
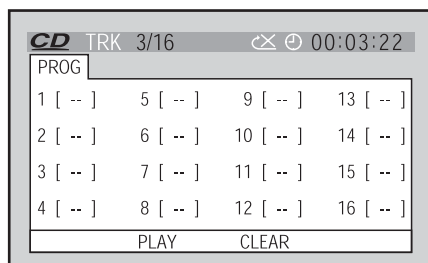
リモコン　リモコン（CR-202AV）

プログラム画面の表示例

CD TRK 3/16 ⌀ 00:03:22

PROG

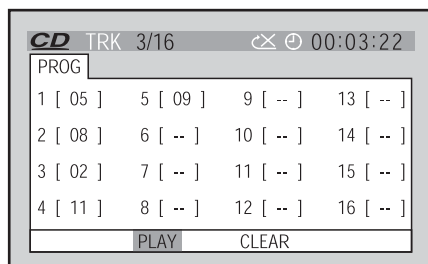
1 [--]	5 [--]	9 [--]	13 [--]
2 [--]	6 [--]	10 [--]	14 [--]
3 [--]	7 [--]	11 [--]	15 [--]
4 [--]	8 [--]	12 [--]	16 [--]

PLAY　CLEAR

トラックを入力後、PLAYを選択し、ENTERを押す

CD TRK 3/16 ⌀ 00:03:22

PROG

1 [05]	5 [09]	9 [--]	13 [--]
2 [08]	6 [--]	10 [--]	14 [--]
3 [02]	7 [--]	11 [--]	15 [--]
4 [11]	8 [--]	12 [--]	16 [--]

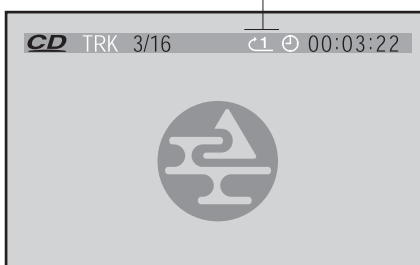
PLAY　CLEAR

プログラム再生を繰り返す

1 プログラム再生中にリモコンのREPEATボタンを押します。

リモコン　リモコン（CR-202AV）

2 押すごとにリピートモードが切り換わります。
"トラック"：再生中のトラックを繰り返し再生
"全体"：ディスク全体を繰り返しプログラム再生

	テレビ画面	本体ディスプレイ
1 1：トラック	1	ONE
2 ALL：全体	A	ALL
3 オフ（リピート解除）	✕	消灯

※リピート再生をやめるときは、REPEATボタンを押して、"オフ"を選びます

プログラムを消去する

1 停止中にリモコンのプログラムボタンを押します。

リモコン　リモコン（CR-202AV）

2 カーソル上下左右（◁ ▷ △ ▽）ボタンを押し、消去したいトラックを選びます。いずれかの数字ボタンを押します。
選択した曲のみ消去されます。
※プログラム画面から、PROGRAMボタンを押すと、プログラム再生は停止します。
ただし、プログラムした内容は、ディスクを取り出すまで残ります。

プログラムを全て消去する

1 停止中にリモコンのプログラムボタンを押します。

リモコン　リモコン（CR-202AV）

2 カーソル上下左右（◁ ▷ △ ▽）ボタンを押し、CLEARを選びます。
全てのプログラムが消去されます。
※以下のやり方でも全てのプログラムが消去されます。

1 **ディスクを取り出します。**

2 **停止を２回押して、レジュームを解除します。**

故障かな？と思ったら（修理を依頼されるまえに、次の項目を点検してください。）

問題	原因と解決方法	関連ページ
再生ボタンを押しても、再生がはじまらない。または、すぐに停止する。	■ 結露していませんか。（1、2時間放置してください。） ■ 7ページにあるマークがついたディスク以外は再生できません。 ■ ディスクが汚れているのできれいに拭いてください。	09
映像が映らない。	■ 接続を確認してください。 ■ VIDEO OUT端子とテレビを接続しているときは、『P.SCAN』を消灯させてください。 ■ テレビの入力を接続した入力に合わせてください。	10
音が聞こえない。または、聞きづらい。	■ 接続を確認してください。 ■ テレビ、ステレオなどの入力を正しく設定してください。 ■『デジタル出力』または『ダイナミックレンジ圧縮』の設定を確認してください。 ■ 本機はDTSには対応しておりません。音声設定でDTSを選んでいる場合にはドルビーまたはPCM音声を選んでください。	10
ビデオCDのメニュー再生ができない。	■ プレイバックコントロール付きビデオCD以外は、メニュー再生できません。	--
早送り/早戻しをしたら画像が乱れる。	■ 多少乱れが生じることがありますが、故障ではありません。	--
各ボタン操作ができない。	■ ディスクによってはその操作を禁止している場合があります。	--
字幕が出ない。	■ 字幕の入っていないDVDは字幕が表示されません。 ■ 字幕が『表示しない』になっていますので、字幕を設定してください。	32
音声（または字幕）言語が切り替えられない。	■ 複数の言語が入っていないディスクは切り替えられません。 ■ 音声（または字幕）切り替え操作では切り替えられず、DVDメニュー画面などで切り替えられるディスクもあります。	32
アングルを変えて見ることができない。	■ 複数のアングルが記録されていないDVDは、アングルを切り替えられません。また、複数のアングルは特定の場面のみ記録されているものがあります。	33
タイトルを選択しても再生がはじまらない。	■『視聴制限レベル』の設定を確認してください。	22
視聴制限で設定した暗証番号を忘れた。	■ リモコンのSETUPボタンを押し、SYSTEMSETUPの項目からPASSWORDを選択します。リモコンから4桁の番号“ 3308 ”を入力します。	22
初期設定で選択した音声言語、字幕言語にならない。	■ DVDにその言語の音声や字幕が入っていないときは、選択している言語になりません。	32
4:3（16:9）の画像で映らない。	■ お手持ちのテレビに合わせて『TVアスペクト』の項目を正しく設定してください。	24
希望の言語でメニュー画面のメッセージが出ない。	■ 初期設定の『ディスク言語設定』の『メニュー言語』を確認してください。	23
リモコンで操作できない。	■ 電池は、＋ －を確かめて正しく入れてください。 ■ 電池が消耗していますので、新しい電池に交換してください。 ■ リモコン受光部に向けて操作してください。 ■ リモコン受光部との距離が6m以内のところで操作してください。 ■ リモコン受光部との間にある障害物を取り除いてください。	20
きれいに映らない、画質／音質がよくない。	■ 雑音源と思われる他の機器が、そばにある。 ■ ディスクが汚れている。 ■ ディスクに傷がついている。 ■ 光学レンズが結露している。	09
再生が始まるまでに時間がかかる。	■ ディスクの種類やサイズの検出、モーターの回転を安定させるためで、故障ではありません。	--

仕様

商品名	amadana DVDプレーヤー	
型名	DD-134	
外形寸法(幅×奥行×高さ)	450x82x352mm（突起物含まず）	
質量	約5 kg	
電源	AC100V 50／60 Hz	
定格消費電力（電気用品安全法に基づく表示）	11 W	
待機電力	1W	
許容周囲温度	0～50℃	
許容相対湿度	～95% RH（結露なきこと）	
再生可能ディスク（12 cm）	DVD-Audio DVD-Video DVD-R（DVD-Video規格準拠） 音楽用CD（CD-DA） ビデオCD スーパービデオCD（IEC62107準拠） CD-R/RW (CD-DA、ビデオCD、スーパービデオCD)	
信号形式	NTSC	
映像出力		
出力レベル	1 Vp-p（75 Ω）	
出力端子	ピンジャック	
端子数	1系統	
コンポーネント映像出力（525p/525i）		
Y出力レベル	1 Vp-p（75 Ω）	
Pr出力レベル	0.7 Vp-p（75 Ω）	
Pb出力レベル	0.7 Vp-p（75 Ω）	
出力端子	ピンジャック（Y: 緑、Pr: 青、Pb: 赤）	
端子数	1系統	
D1/D2/D4映像出力		
Y出力レベル	1 Vp-p（75 Ω）	
Pr出力レベル	0.7 Vp-p（75 Ω）	
Pb出力レベル	0.7 Vp-p（75 Ω）	
出力端子	D端子	
端子数	1系統	
アナログ音声出力		
出力レベル	2 Vrms（1 kHz、0 dB）	
出力端子	ピンジャック	
端子数	2ch出力1系統	
音声出力特性		
周波数特性	DVD(リニア音声)	4 Hz～22 kHz（48 kHzサンプリング）
		4 Hz～44 kHz（96 kHzサンプリング）
	CD	4 Hz～44 kHz（JEITA）
S／N比	CD	100dB（JEITA）
	DVD	100dB（JEITA）
ダイナミックレンジ	DVD (リニア音声)	100dB
	CD	99 dB（JEITA）
全高調波歪率	CD	0.03 %（JEITA）
デジタル音声出力	光デジタル出力	光コネクター

本機は、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭およびそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

本機は、すべての高解像度テレビと互換性があるというわけではないことをご了承ください。そのため、画像がみだれて表示されることがあります。プログレッシブスキャン(525pまたは626p順次走査)再生時に問題がありましたら、映像の出力形式を、通常解像度側に切り替えることをお勧めします。525p/626p DVDプレーヤーとの接続について、ご不明な点は、お客様サポートセンターにお問い合わせください。

**ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
DOLBY及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。**

用語解説

コンポーネント映像出力
S映像よりもさらに鮮明な映像(D端子出力映像と同等)を得ることができます。また、本端子はプログレッシブ映像出力(525p)にも対応しているため、525i信号の映像よりも高密度な映像が楽しめます。テレビやモニターなどにより入力端子の表示が異なる(Y/PB/PR、Y/B-Y/R-Y、Y/CB/CRなど)場合がありますので、そちらの説明書もご覧ください。

サンプリング周波数
サンプリングとは、音の波(アナログ信号)を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化(デジタル信号化)することです。１秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、回数が多いほど原音に近い音を再現できます。

ダイナミックレンジ
機器がだすノイズにうもれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。ダイナミックレンジを圧縮すると、最小音と最大の音の音量差を小さくすることで、小音量でもセリフなどを聞き取りやすくできます。

デコーダー
DVDなどに圧縮して記録した音声データを、通常の音声信号に戻す装置。この処理をデコードといいます。

ビットレート
1秒間に記録・伝送するビット(情報量の最小単位)の総数のことです。デジタル信号を送るスピード、量を決めるもので、数値が大きいほど音質や画質が良くなります。

プレイバックコントロール(PBC)
ビデオCDを再生する方式のひとつで、表示されるメニュー画面を見ながら、見たい画面や情報を選ぶことができます。

フレーム／フィールド
フレームとは、テレビの1枚の画面のことです。1フレームはフィールドと呼ばれる2枚の画面からなっています。
- ■ フレームスチルのときは、2枚のフィールドの間でブレを生じることがありますが、画質は良くなります。
- ■ フィールドスチルのときは、情報量が少ないため画像は少し粗くなりますが、ブレを生じません。

プログレッシブ／インターレース
従来の映像信号(NTSC)は525i(i:インターレース=飛び越し走査)といわれるのに対し、その525i信号の倍の走査線数をもつ高密度な映像信号を525p(p:プログレッシブ＝順次走査)といいます。プログレッシブではDVDソフト本来の高精細映像を再現できます。また、D4出力端子はハイビジョン映像出力(750p、1125i)にも対応しています。プログレッシブ映像、ハイビジョン映像を楽しむには、それぞれ対応テレビが必要です。

Bitstream(ビットストリーム)
圧縮され、デジタルに置き換えられた信号です。AVアンプなどに搭載されたデコーダーにより、5.1chなどのマルチチャンネル音声信号に戻されます。

D映像出力
S映像よりもさらに鮮明な映像を得ることができます。また、本端子はプログレッシブ映像出力(525p)にも対応しているため、525i信号の映像よりも高密度な映像が楽しめます。

Dolby Digital(ドルビーデジタル)
ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方法です。
ステレオ(2ch)はもちろん、マルチチャンネル音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。

S映像出力
映像信号をカラー(C)信号と輝度(Y)信号に分離してテレビに伝えるため、より鮮明な画像を得られます。

アフターサービス

1 保証書の内容のご確認と保存のお願い

必ず「販売店印およびお買い上げ日」をご確認のうえ、お買い上げの販売店から受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

2 保証期間は、お買い上げ日より1年間

3 「amadana」カスタマー登録のお勧め

「amadana」を愛着を持って末永くお使いいただくために、「amadana」カスタマー登録をお勧めしています。
本カスタマー登録の特典や登録方法は別紙の通りです。
商品お買い上げ後1年以内が登録期限です。お早めにご登録ください。

4 修理をお申しつけされるとき

≪保証期間中≫　製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。
保証書の記載内容に基づき修理いたします。
≪保証期間を経過しているとき≫　修理すれば使用できる商品は、ご要望により有料修理いたします。

5 補修用性能部品※の保有期間は、製造打ち切り後6年間です。

ただし、「amadana」カスタマー登録に登録いただくと別規定を適用させていただきます。(詳細は別紙「amadana」カスタマー登録特典をご覧ください。)
※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

6 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料、部品代、出張料などで構成されています。**技術料** は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。 **部品代** は、修理に使用した部品および補助材料代です。**出張料** は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。(本機の場合、持ち込み修理となります)

お客様サポートセンター

修理・お取り扱い・消耗品や部品のご購入などのご相談は、お買い上げの販売店もしくは弊社サポートセンターにお問い合わせください。
所在地、電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

お客様サポートセンター　フリーダイヤル　**0120-161914**

受付時間　10:00～19:00　年中無休 (GW、盆休み、年末年始を除く)
■携帯電話・PHSの方はこちらへ　Tel (03)5774-0947
■ファクシミリでのお問い合わせ　Fax (03)5467-0431

株式会社 リアル・フリート

製品の「品番・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・FAX番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。

スーパーマルチリモコン
Super Multi Remote Control Unit
CR-202AV

取扱説明書
Instruction Manual

INDEX

各部のなまえとはたらき

本機をスーパーマルチリモコンとしてご利用する場合には、下図の黒字の部分が各ボタンの名称となります。DD-134、AA-132をご利用の際は各製品に付属している取扱説明書をご参照ください。

1	**赤外線送信部・学習用受光部**
2	**液晶表示画面**
3	**プレーヤー・デッキ操作ボタン** 再生・停止・一時停止・録画・早送り・早戻し
4	**数字ボタン** 選局・文字入力・アンプ入力切替
5	**ファンクションボタン** マクロ操作・特殊な操作
⏻	**電源ボタン** 電源を入/切します。
INPUT	**INPUTボタン** 入力切替
COMPO SET	**COMPO/SETボタン** 機器選択・モード切替
CH ＋ / CH −	**チャンネルアップ/ダウンボタン** チャンネルの順送りでの選局
🔊 / 🔈	**音量アップ/ダウンボタン** 🔊で音が大きくなり、🔈で音が小さくなります。
	方向ボタン カーソルを上下左右に移動します。
	ENTERボタン 選択項目の実行
DISPLAY	**DISPLAYボタン** 画面表示のON/OFF
CLEAR	**CLEARボタン** 文字の消去、学習信号の消去
GUIDE	**GUIDEボタン** 番組表のON/OFF、バンドの切替
BS	**BSボタン** アナログBS放送への切替、BSデジタル放送への切替、衛生切替
MUTE	**MUTEボタン** 消音
MENU	**MENUボタン** メニュー表示の切替
SHIFT	**SHIFTボタン** マクロ操作、コントラスト調整、バックライト時間の調整

＜通常画面＞ COMPO/SETボタンを押す。

機器を選択します。
表示は下のようにスクロールします。

TV → VTR → TUNER → CATV → AIR → AMP → CD → HDVR → DVD → TV

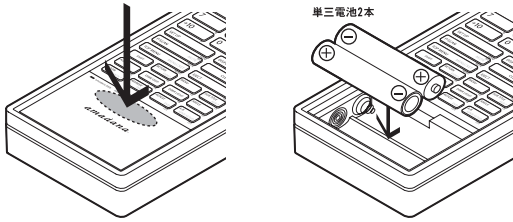
＜設定画面＞ COMPO/SETボタンを長押しする。その後、方向ボタンで選択する。

各種設定ができます。
表示は下のようにスクロールします。

PRESET ⟷ LEARN ⟷ LABEL → CLEAR ⟷ MACRO → PRESET

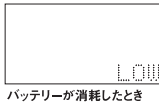
ご使用前の準備

電池を入れる

使用する前に下図に従って電池を入れてください 。
「*amadana*」ロゴの上を押してください。

※付属のマンガン電池はお試し用です。
ご使用になる際はアルカリ電池をおすすめします。

電池の交換時期

通常の使い方をした場合、アルカリ乾電池は5ヶ月程度持ちます。電池が消耗してくると右の画面が表示されます。この画面が表示されましたら2本とも新しいアルカリ乾電池と交換してください。

バッテリーが消耗したとき

オートパワーオフ機能

通常画面のとき(→A-03)、ボタン操作が30秒以上無ければ、自動的に電源が切れます。再び電源を入れるには、どれかボタンを押してください。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火破裂、誤飲などをさけるため、下記の事を必ずお守り下さい。

⚠警告

- ■ 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- ■ 乾電池は充電しない。
- ■ 指定された種類の電池を使用する。

⚠注意

- ■ ＋と－の向きを正しく入れる。
- ■ 電池を使い切ったとき、長時間使用しない時は、取り出しておく。
- ■ 新しい電池と使用した電池や種類の違う電池を混合して使用しないでください。

※もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

【メーカー番号の設定】

本機は工場出荷時に、下記の機器を操作できるように設定されています。工場出荷時の設定と同じメーカー製品であれば、メーカー番号の設定を行う必要はありません。他社製の機器を操作する場合、または工場出荷時の設定でも動作しないときは、[A-05]の手順に従ってメーカー番号を設定してください。

ラベル名	操作できる機器	工場出荷時の設定
TV	テレビ ビデオ一体型テレビ BSチューナー内蔵テレビ	リアル・フリート（F101）
VTR	ビデオデッキ	アイワ（F201）
TUNER	スカイパーフェクTV!チューナー	アイワ（F301）
CATV	ケーブルテレビホームターミナル	愛知電子（F401）
DVD	DVDプレーヤー DVDレコーダー/プレーヤー	リアル・フリート（F538）
HDVR	ハードディスクビデオプレーヤー	パナソニック（F601）
CD	CDプレーヤー	リアル・フリート（F701）
AMP	アンプ	リアル・フリート（F871）
AIR	空気清浄機	リアル・フリート（F901）

【画面のコントラストの調整】

コントラスト調整送信画面表示からSHIFTボタンを押しながら、CH＋ / －ボタンを押して調整します。

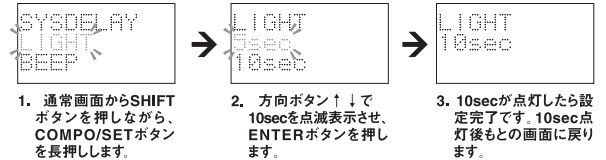
SHIFT ＋ CH＋ → 画面表示が濃くなります
SHIFT ＋ CH－ → 画面表示が薄くなります

※調整中、表示画面は変化しません。

【画面のバックライト時間の調整】

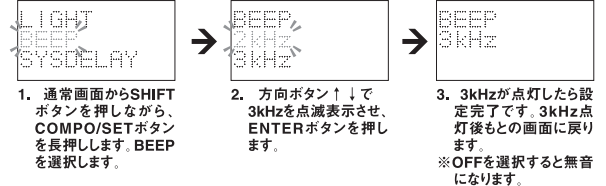
バックライト点灯時間を設定することができます。設定時間は、5秒、10秒、15秒、20秒、25秒、30秒、OFF（0秒）の7段階を調整します。

■バックライトの点灯時間を10秒に設定する場合。

1. 通常画面からSHIFTボタンを押しながら、COMPO/SETボタンを長押しします。
2. 方向ボタン↑↓で10secを点滅表示させ、ENTERボタンを押します。
3. 10secが点灯したら設定完了です。10sec点灯後もとの画面に戻ります。

【ボタン操作音の設定】

ボタン操作音を2つの音色から選択するか、無音に設定することができます。

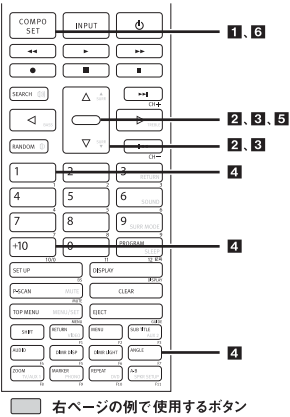
■ ボタン操作音を3kHzに設定する場合。

1. 通常画面からSHIFTボタンを押しながら、COMPO/SETボタンを長押しします。BEEPを選択します。
2. 方向ボタン↑↓で3kHzを点滅表示させ、ENTERボタンを押します。
3. 3kHzが点灯したら設定完了です。3kHz点灯後もとの画面に戻ります。
※OFFを選択すると無音になります。

リモコンで操作をする

本機には、各メーカーのリモコン信号が記憶（プリセット）されています。リモコンをご使用になる前にお使いの機器に合わせてメーカーのプリセット設定をしてください。

※1つのメーカーに複数の設定番号がある場合、正しく動作しない場合がございます。その場合は別の設定番号でやり直してください。
※メーカー設定番号一覧は[A-14]をご覧ください。
※メーカー設定番号一覧に設定番号がない、もしくはプリセット設定を行っても正しく動かない場合にはリモコン信号を学習させてください。（→A-16 参照）

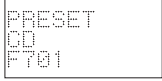
■ 操作ボタン

右ページの例で使用するボタン

■ プリセットの設定をする
→例：CDにF701　リアル・フリート製を設定する。

1 COMPO/SETボタンを2秒以上、長押しする。

2 方向ボタン↑↓にて、「PRESET」を点滅させて、ENTERボタンを押す。

3 CDを方向ボタン↑↓で選択して、ENTERボタンを押す。

4 ファンクションボタンF7と数字キ10/0と1を押す。

5 ENTERボタンを押して、設定確認する。NGと表示された場合は、メーカー番号一覧表から番号を変えて4、5を繰り返して行う。

※同じメーカーの登録番号が無い場合は、学習機能にて登録してください。

OKの場合の表示

NGの場合の表示

6 2の画面へ戻ります。終了する場合はCOMPO/SETボタンを押す。

■ プリセットした機器をリモコンで操作する。
→例：リモコンでCDを操作をする場合

1 COMPO/SETボタンを短押しして、CDを選択する。

TV → VTR → TUNER → CATV → DVD → HDVR → CD → AMP → AIR → TV

初期設定ではこの9つの機器がスクロールします。

2 各操作ボタンが働きます。

信号を学習させる

本機にプリセットされていない機器や機能を操作するときには、本機に操作したい機器のリモコンの信号を「学習」させることが出来ます。
また、学習機能を使えば、メーカー番号を設定した後で、それぞれの操作ボタンの機能を変更したり追加することができます。

■操作ボタン

右ページの例で使用するボタン

■学習可能なボタン

学習させる事ができるボタン

※リモコンの送信部同士の距離が5～10cmの範囲でのみ信号の送受信を行うことができます。うまく学習できない場合は、角度や距離を調整し、再度送受信を行ってください。

■ プリセットされていない機器の信号を学習させる →例：DVDのPOWERボタンに学習させる場合

1 COMPO/SETボタンを2秒以上、長押しする。

2 方向ボタン↑ ↓にて、「LEARN」を点滅させ、ENTERボタンを押す。

3 方向ボタン↑↓にて、学習登録させる機器をDVDに点滅を移動させ、ENTERボタンを押す。

4 学習させるリモコンと本リモコンを向かい合わせに置く。（リモコン同士の間隔は、5～10cmの範囲で行ってください。）

5 本機の登録させるボタン（POWER）を押すと「LEARN」と「DVD」が点灯する。

※すでに学習済みボタンの場合、「ALREADY」と表示され学習させる事はできません。下記の操作を行い、一度消去してから学習させてください。
※学習させる事ができるキーは左の図を参照してください。

学習できる状態

学習できない状態

6 学習させるリモコンのボタンを本機に向けて送信する。
※約30秒以内に送信してください。

7 学習した結果（OKまたはNG）が表示されます。続けて学習させるには、ENTERボタンを押してください。**4**に戻ります。

※「OK」の表示は本リモコンが何らかの信号を受け取ったという合図であり、必ずしも学習できたという表示ではありません。
「OK」と表示された場合でも、うまく学習できていない場合がありますので、学習させた後は、動作の確認を行ってください。
※続けて学習させる場合には学習結果が表示してから10秒以内に操作を開始して下さい。
※学習機能を中止したいときは、COMPO/SETボタンを押します。

信号を受信した場合の表示

信号を受信しなかった場合の表示

■ 登録済みの学習信号を消去する

1 **4**の画面の状態の時に消去したいボタンとCLEARボタンを一緒に2秒以上押してください。右の表示が2秒間表示され、4の画面に戻ります。

LEARN
DVD
CLEAR OK

機器ラベル名を変更する

学習した機器の名前を自由に変更することが出来ます。

■操作ボタン

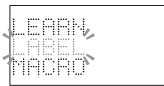
右ページの例で使用するボタン

■文字入力表

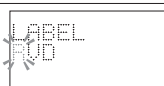
キー＼回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	2	A	B	C	a	b	c	-	-	-	-	-	-
3	3	D	E	F	d	e	f	-	-	-	-	-	-
4	4	G	H	I	g	h	i	-	-	-	-	-	-
5	5	J	K	L	j	k	l	-	-	-	-	-	-
6	6	M	N	O	m	n	o	-	-	-	-	-	-
7	7	P	Q	R	S	p	q	r	s	-	-	-	-
8	8	T	U	V	t	u	v	-	-	-	-	-	-
9	9	W	X	Y	Z	w	x	y	z	-	-	-	-
+10	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
PROGRAM	@	!	?	#	&	＊	—	/	_	.	·	[	]

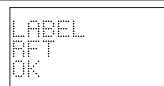
■ 機器ラベル名を変更する →例：DVDをRFTに変更する場合

1 COMPO/SETボタンを2秒以上、長押しする。

2 方向ボタン↑↓にて、「LABEL」を点滅させ、ENTERボタンを押す。

3 方向ボタン↑↓にて変更したい機器名（DVD）を点滅させ、ENTERボタンを押す。

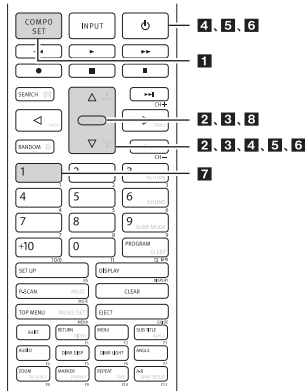
4 変更したい機器名（DVD）の文字の左頭が反転表示されます。

5 本機の数字ボタンにて数字とアルファベットを入力し、ラベル名を変更する。

※方向ボタン←→を押し入力箇所を移動し、数字ボタン（1〜12）を押し文字を入力してください。文字を取り消す場合にはCLEARボタンを押してください。（文字入力に関しては左の文字入力表を参照してください。）
※30秒以内に入力がない場合は、始めの画面に戻ります。
※文字は10文字まで入力できます。

6 続けてラベル変更させる場合は、「OK」表示中にENTERボタンを押す。（30秒以内程度）終了したい場合は、COMPO/SETボタンを押す。

マクロ設定する

マクロ設定を利用するとよく使う一連の操作を、F1～F11の各ボタンに記憶させ一回の操作で自動送信する事ができます。マクロ送信させるときは、SHIFTを押しながらマクロ登録したファンクションボタン（F1～F11）を押します。

※F1～F11の各ボタンに対して16ステップまで登録可能です。

■操作ボタン

■マクロ登録できるボタン

[A-08]で使用するボタン

■「F2」に"VTRのPOWER"、"DVDのPOWER"、"TVのPOWER""TVの1ch"をマクロ登録させる場合

1 COMPO/SETボタンを2秒以上、長押しする。

2 方向ボタン↑↓にて、「MACRO」を点滅させ、ENTERボタンを押す。

3 方向ボタン↑↓にて「F2」を点滅させENTERボタンを押す。

4 方向ボタン↑↓にて、操作したい機器（VTR）を点滅させる。

点滅している状態で、マクロ登録させたいVTRのPOWERキーを押す。

5 次に方向ボタン↑↓を押して機器をDVDに変える。

点滅している状態で、マクロ登録させたいDVDのPOWERキーを押す。

6 次に方向ボタン↑↓を押して機器をTVに変える。

点滅している状態で、マクロ登録させたいTVのPOWERキーを押す。

7 6のTV点滅の状態でそのまま"1"を押す。

8 ENTERボタンを押して、マクロ登録を確定する。

■続けてF3に登録したい場合は、方向ボタン↑↓にてF3を点滅させENTERボタンを押し、4から任意に登録させていきます。

■終了する場合はCOMPO／SETボタンを押してください。

※登録ステップ数が 16ステップに達した場合、自動的に登録が確定します。

※COMPO/SETボタン、SHIFTボタン、方向ボタン（↑↓→←）、ENTERボタン、CLEARボタンはマクロ登録できません。

※30秒間キー入力が無いと、送信画面に戻ります。

※3のENTERボタンを押してALREADYと表示された場合はそのファンクションキーには、既にマクロ登録がされています。消したい場合は[A-09]のMACROの設定の初期化を行ってください。

■マクロ機能で操作をする

通常モードでSHIFTボタンを押しながらマクロ登録したファンクションボタン（F1～F11）を押してください。

■マクロ送信間隔を変更する

各ステップの操作間隔を250～2000msの間で250msごとに変更することができます（8段階）。

※1ms：1/1000秒　※工場出荷時は500msに設定してあります。

■操作ステップの間隔を1000msに変更する場合

1. 送信画面からSHIFTボタンを押しながら、COMPO/SETボタンを長押しします。方向ボタン↑↓で、SYSDELAYを表示させ、ENTERボタンを押します。

2. 方向ボタン↑↓で1000msを表示させ、ENTERボタンを押します。

3. 1000msが点灯し、約2秒後に1の画面へ戻り設定が完了します。

各設定内容を初期化する

本機に登録した内容を初期化する事ができます。初期化の種類は機種ごとの学習データ、全ての設定内容、MACRO設定データの3種類があります。

■ 使用するボタン

[A-09]で使用するボタン

■ 機種ごとの学習データの初期化
→DVD機器の設定を初期化する場合

1 COMPO/SETボタンを2秒以上、長押しする。

2 方向ボタン↑↓にて、「CLEAR」を点滅させ、ENTERボタンを押す。

3 方向ボタン↑↓にて、「COMPO」を点滅させENTERボタンを押す。

4 方向ボタン↑↓にて変更したい機器名(DVD)を点滅させ、ENTERボタンを押す。

5 方向ボタン←→でYES・NO を選んで、ENTERボタンを押す。

YESの場合 → 2の画面に戻ります。
NOの場合 → 3の画面に戻ります。

■全ての設定内容(プリセット、学習、ラベル変更、MACRO)を工場出荷時の状態にする

1 COMPO/SETボタンを2秒以上長押しする。

2 方向ボタン↑↓にて、「CLEAR」を点滅させENTERボタンを押す。

3 方向ボタン↑↓にて、「ALL」を点滅させENTERボタンを押す。

4 方向ボタン←→でYESを選んで、ENTERボタンを押す。

※YESを選んだ場合、4～5秒間右の画面が表示されます。
※NOを選んだ場合中止となり今まで通りとなります。

YESを選んだ場合

■ MACRO設定データの初期化
→F3に登録してあるMACRO設定を初期化する

1 COMPO/SETボタンを2秒以上長押しする。

2 方向ボタン↑↓にて、「CLEAR」を点滅させ、ENTERボタンを押す。

3 方向ボタン↑↓にて、「MACRO」を点滅させENTERボタンを押す。

4 方向ボタン↑↓にて、「F3」を点滅させENTERボタンを押す。
※MACRO設定を全て初期化する場合は、「ALL」を点滅させる。

5 方向ボタン←→でYESを選んで、ENTERボタンを押す。

YESの場合 → 2の画面に戻ります。
NOの場合 → 3の画面に戻ります。初期化しません。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お客様サポートセンターにご連絡ください。

症状	解決方法	ページ
リモコンで機器の操作ができない	■機器から離れすぎていませんか?5m以内の距離でリモコンを使ってください。	ー
	■操作する機器にリモコンを向けているか、操作する機器のリモコン受光部の前に障害物がないか確認してください。	ー
	■必要に応じて、まず操作する機器の電源を入れてください。	ー
	■正しい機器選択ラベルを選択しているか確認してください。機器選択ラベルにプリセット設定すると、登録したメーカー番号で機器が決定します。そのため、機器選択ラベルの名称と設定した機器の種類が異なる場合があります。その場合は、もう一度プリセット設定（P8）をし直してから、ラベルの機器の名称を変更する（P12）ことをおすすめします。	A-05 A-07
	■お使いの機器が赤外線方式のリモコン対応かどうか確認してください。操作する機器にリモコンが付属されていない場合には、リモコンでは操作できないことがあります。	ー
	■乾電池が正しく入ってない可能性があります。乾電池の＋とーの向きを正しく入れてください。	A-04
	■機器側の故障が考えられます。他のテレビやビデオで確認してみてください。	ー
リモコンで機器の操作ができない（以前は操作できた）	■電池が消耗している場合があります。LOWと画面に表示されている場合には電池を交換してください。	A-04
	■誤ってメーカー設定を変更している可能性があります。もう一度メーカー設定をしてみてください。	A-05
	■選択した機器選択ボタンに別の機器を設定した可能性があります。そのボタンに設定した機器やメーカー番号などを確認してください。	A-05
メーカー番号を設定しても操作できない	■正しいメーカー番号を設定しましたか?同じメーカーでも複数の番号がある場合は、P37のプリセットメーカー一覧に載っている他の番号を設定してみてください。	A-05
	■同じメーカーでも、機種によっては記憶されているものと異なるリモコン信号を使用している場合があります。メーカー番号を設定しても操作できないボタンがある場合は、学習機能でリモコン信号を記憶させてください。	A-06
	■リモコンの信号を学習しないと使用できない機器があります。学習してから操作してください。	A-06

症状	解決方法	ページ
メーカー設定ができない	■設定モードになっていない可能性があります。COMPO/SETボタンを2秒以上押してからメーカー設定を行ってください。	A-05
学習がうまくできない	■学習をさせる時には本機と学習をさせるリモコンの間隔を5～10cmの間で学習させてください。	A-06
	■学習させるリモコンの電池が消耗している場合があります。新しい電池に交換してから学習させてください。	A-04
	■赤外線方式以外のリモコンは学習させる事ができません。また、赤外線方式のリモコンでも一部学習できない信号がございます。	ー
リモコンを操作しようとすると「LOW」と表示される	■電池が消耗し始めています。できるだけ早く新しい電池と交換してください。	ー

仕様　CR-202AV

動作距離	約5m（正面距離）
電源	DC3V、単三乾電池2個
最大外形寸（mm）	約70.5×230.5×30.5（幅×奥行×高さ）
質量	約305g（電池含む）
電池持続時間	約5ヶ月（使用頻度でかわります）※アルカリ乾電池使用時

エアコンの学習について

■エアコンを停止させた状態で学習させてください。
■本機とエアコンのリモコン送信部を、10cm程度離して向かい合わせます。
■エアコンのリモコンには、斜め上から向かい合わせなければ信号を受信できないものがあります。
■1つのボタンで「運転／停止」が切り替わるリモコンの場合は、〈運転〉と〈停止〉両方の信号を別々のボタンに学習させてください。〈運転〉〈停止〉以外にも、1つのボタンで異なる動作をさせるものについては、それぞれの信号を別々のボタンに学習させてください。
■エアコンの場合、〈運転〉や〈冷房〉などの操作ボタンを押すと、その時に設定された温度や風量などの情報も同時に送信されます。このため、エアコンの信号は、季節ごとのお好みの設定を、それぞれ学習させてください。
例：26度設定の冷房の〈運転〉を学習させて、「COOL 26 ON」などのようにラベル名を登録してください。
■エアコンの付属リモコンによっては、ボタンを押し、指を離したときに信号を送信するものがあります。また、〈送信〉ボタンを押さなければ、設定した内容をエアコン本体に送信しないものがあります。この場合、設定を行った上で、〈運転〉ではなく〈送信〉ボタンを押して学習させてください。
■温度などのセンサーがついたリモコンの場合、学習させてもエアコンのリモコン操作ができないことがあります。

正しくお使いいただくために

使用上のご注意

■落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因になることがあります。
■暖房器具のそばや直射日光のあたる場所、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。
■操作する機器のリモコン受光部に、直射日光や強い照明があたらないようにしてください。リモコン操作ができない場合があります。
■直射日光の当たる場所に置くと、変色の原因になりますので置かないでください。

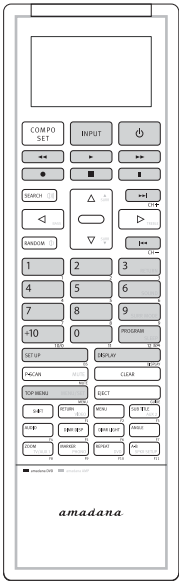
お手入れ

リモコンの表面は、中性洗剤溶液を少し含ませた、柔らかい布などで拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは、表面を傷めますので、使わないでください。

各機器の操作ボタン

TVの操作

※操作ボタンはプリセットされている機器の機能によって異なります。
※全ての動作を保証するものではありません。学習機能と併せてご利用されることをお勧めします。

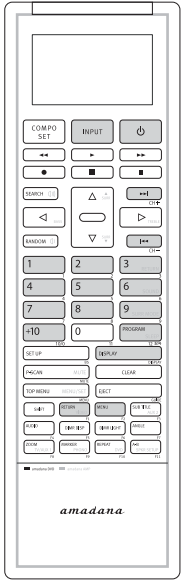
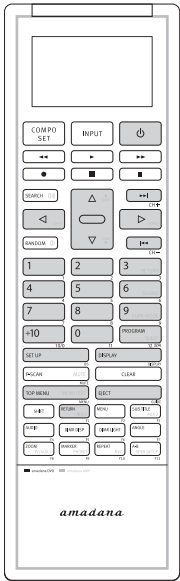
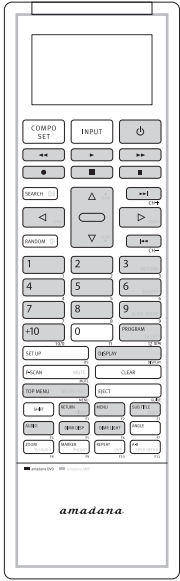
ボタン	機能
⏻	電源のON/OFF
◁ △ ▽ ▷	カーソルの移動
▭	選択項目の決定
1 ～ 12 記号	ダイレクトにチャンネルを選局
CH ＋ CH －	チャンネルを順送りで選局
🔊 🔈	🔊 で音量を大きく 🔈 で音量を小さく
INPUT	入力の切替
MUTE	消音

ボタン	機能
BS	
DISPLAY	テレビチャンネルの表示のON/OFF
MENU	メニューを表示
GUIDE	番組表の表示
►	
■	
❚❚	
►►	
◄◄	
●	
F 1	二重音声放送の切替
F 2	テレビのスリープ機能（スリープ機能付きテレビのみ）
F 3	
F 4	
F 5	
F 6	
F 7	
F 8	
F 9	
F 10	
F 11	

各機器の操作ボタン

VTRの操作

※操作ボタンはプリセットされている機器の機能によって異なります。
※全ての動作を保証するものではありません。学習機能と併せてご利用されることをお勧めします。

ボタン	機能
⏻	電源のON/OFF
◁ △ ▽ ▷	
⊂⊃	
1 ～ 12 記号	ダイレクトにチャンネルを選局
CH ＋ CH －	チャンネルを順送りで選局
🔊 / 🔉	
INPUT	入力ラインの切替
MUTE	

ボタン	機能
BS	BS操作
DISPLAY	データスクリーン表示
MENU	メニューを表示
GUIDE	
►	再生
■	停止
▮▮	一時停止
►►	早送り
◄◄	巻戻し
●	録画
F 1	
F 2	
F 3	
F 4	
F 5	
F 6	
F 7	
F 8	
F 9	
F 10	
F 11	

TUNERの操作

※操作ボタンはプリセットされている機器の機能によって異なります。
※全ての動作を保証するものではありません。学習機能と併せてご利用されることをお勧めします。

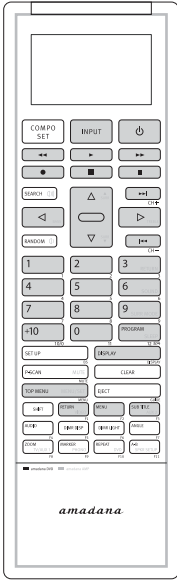
ボタン	機能
⏻	電源のON/OFF
◁ △ ▽ ▷	カーソルの移動
⊂⊃	選択項目の決定
1 ～ 10/0 12 記号	1～9 ⟶ 1～9 10/0 ⟶ 0 12 記号 ⟶ 選局
CH ＋ CH －	チャンネルを順送りで選局
🔊 / 🔉	
INPUT	
MUTE	

ボタン	機能
BS	衛星切替
DISPLAY	画面表示
MENU	メニューを表示
GUIDE	番組表
►	
■	
▮▮	
►►	
◄◄	
●	
F 1	音声切替
F 2	
F 3	
F 4	
F 5	
F 6	
F 7	
F 8	
F 9	
F 10	
F 11	

各機器の操作ボタン

CATVの操作

※操作ボタンはプリセットされている機器の機能によって異なります。
※全ての動作を保証するものではありません。学習機能と併せてご利用されることをお勧めします。

⏻	電源のON/OFF
◁ △ ▽ ▷	
⊂⊃	
1 ～ 10/0 12 記号	1～9 ⟶ 1～9 10/0 ⟶ 0 12 記号 ⟶ 選局
CH ＋ CH －	チャンネルを順送りで選局
🔊 🔈	
INPUT	入力切替（ホームターミナル / ビデオ/ビデオ）
MUTE	

BS	
DISPLAY	画面表示
MENU	
GUIDE	
►	
■	
❚❚	
►►	
◄◄	
●	
F 1	二重音声切替
F 2	スリープ（オフタイマー）
F 3	
F 4	
F 5	
F 6	
F 7	
F 8	
F 9	
F 10	
F 11	

DVDの操作

※操作ボタンはプリセットされている機器の機能によって異なります。
※全ての動作を保証するものではありません。学習機能と併せてご利用されることをお勧めします。

⏻	電源のON/OFF
◁ △ ▽ ▷	カーソルの移動
⊂⊃	選択項目の決定
1 ～ 10/0 12 記号	1～10/0 → 数字入力 12 記号 → 項目の決定
CH ＋ CH －	CH ＋ 次の場面、曲へ CH － 前の場面、曲へ
🔊 🔈	
INPUT	
MUTE	

BS	
DISPLAY	現在の再生状態を画面に表示
MENU	メニューを表示
GUIDE	
►	再生
■	停止
❚❚	一時停止
►►	早送り
◄◄	早戻し
●	録画
F 1	一つ前の選択画面に戻る
F 2	タイトルメニュー表示
F 3	サブタイトルの切替
F 4	音声切替
F 5	取り消し
F 6	トレイの開閉
F 7	アングルの切替
F 8	
F 9	
F 10	
F 11	

各機器の操作ボタン

HDVRの操作

※操作ボタンはプリセットされている機器の機能によって異なります。
※全ての動作を保証するものではありません。学習機能と併せてご利用されることをお勧めします。

ボタン	機能
⏻	電源のON/OFF
◁ △ ▽ ▷	カーソルの移動
○	選択項目の決定
1 ～ 12 記号	ダイレクトにチャンネルを選局
CH ＋ CH −	チャンネルを順送りで選局
🔊 🔉	
INPUT	ライン入力の切替
MUTE	

ボタン	機能
BS	
DISPLAY	画面表示のモード選択
MENU	メニューを表示
GUIDE	
►	再生
■	停止
❚❚	一時停止
►►	早送り
◄◄	早戻し
●	録画
F 1	録画済みタイトル画面のON / OFF
F 2	タイトルメニュー表示
F 3	リスト画面の種類を選択する画面のON / OFF
F 4	
F 5	
F 6	
F 7	
F 8	
F 9	
F 10	
F 11	

CDの操作

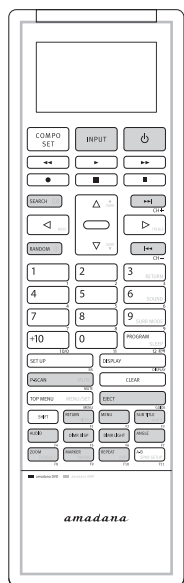
※操作ボタンはプリセットされている機器の機能によって異なります。
※全ての動作を保証するものではありません。学習機能と併せてご利用されることをお勧めします。

ボタン	機能
⏻	電源のON/OFF ＊1
◁ △ ▽ ▷	
○	
1 ～ 12 記号	曲番号の選択
CH ＋ CH −	CH ＋ 次の場面、曲へ CH − 前の場面、曲へ
🔊 🔉	
INPUT	
MUTE	

ボタン	機能
BS	
DISPLAY	
MENU	
GUIDE	
►	再生
■	停止
❚❚	一時停止
►►	早送り
◄◄	早戻し
●	
F 1	次のディスクを選択 ＊2
F 2	
F 3	
F 4	
F 5	
F 6	
F 7	
F 8	
F 9	

＊1 amadanaデスクトップオーディオ（AD-103）の電源は ⏻ または F 1 ボタンに搭載しています。
＊2 amadanaデスクトップオーディオ（AD-103）にはディスク選択機能はありません。

各機器の操作ボタン

AMPの操作

※操作ボタンはプリセットされている機器の機能によって異なります。
※全ての動作を保証するものではありません。学習機能と併せてご利用されることをお勧めします。

ボタン	機能
⏻	電源のON/OFF
△ ◁ ▷ ▽	
○	
1 ～ 12 記号	
CH ＋ CH －	周波数の変更（プリセット、受信）
🔊 🔉	🔊 で音量を大きく 🔉 で音量を小さく
INPUT	入力の切替
MUTE	消音

ボタン	機能
BS	
DISPLAY	
MENU	
GUIDE	バンドに切替、またはプリセット選択
►	
■	
❚❚	
►►	
◄◄	
●	
F 1	ビデオ1入力
F 2	ビデオ2入力
F 3	AUX入力
F 4	チューナー入力
F 5	CDプレーヤー入力
F 6	カセットデッキ入力
F 7	MD / DATデッキ入力
F 8	テレビ入力
F 9	レコードプレーヤー入力
F 10	DVDプレーヤー入力
F 11	

AIRの操作

※amadana空気清浄機（PA-101）がプリセットされています。

ボタン	機能
⏻	
△ ◁ ▷ ▽	
○	
1 ～ 12 記号	
CH ＋ CH －	
🔊 🔉	
INPUT	
MUTE	

ボタン	機能
BS	
DISPLAY	
MENU	
GUIDE	
►	選択 / 切
■	切タイマー
❚❚	マイナスイオン
►►	ターボ
◄◄	
●	
F 1	
F 2	
F 3	
F 4	
F 5	
F 6	
F 7	
F 8	
F 9	
F 10	
F 11	

学習ボタン記入表

機器の信号を誤って学習させる事を防止する為に学習機能、マクロ機能を利用する際はあらかじめこちらの表に記入し確認してから学習される事をお奨めします。

記入例

機器ラベル名:　　DVDプレーヤー

※対応するボタンの上に学習させるキーを記入してご利用ください。

機器ラベル名:

学習ボタン記入表

機器ラベル名:

機器ラベル名:

学習ボタン記入表

機器ラベル名:

マクロ設定記入表

ステップ	機器ラベル	キー
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		

ステップ	機器ラベル	キー
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		

メーカー番号一覧

TV / テレビ

メーカー名	設定番号			
リアル・フリート	F101			
アイワ	F102			
富士通	F103	F104		
フナイ/PRECIOUS	F105	F106	F107	
日立	F108	F109	F110	
三菱	F111	F112	F113	F114
NEC	F115	F116	F117	
パナソニック（松下）	F118	F119	F120	F121
フィリップス	F122			
パイオニア	F123			
サンヨー	F124	F125	F126	
シャープ	F127	F128	F129	
SONY	F130 F134	F131 F135	F132	F133
東芝	F136	F137	F138	
ビクター（JVC）	F139	F140	F141	F142

VTR / ビデオデッキ

メーカー名	設定番号			
アイワ	F201	F202	F203	F204
フナイ/PRECIOUS	F205			
日立	F206	F207	F208	F209
三菱	F210	F211	F212	F213
パナソニック（松下）	F214 F218	F215	F216	F217
サンヨー	F219	F220	F221	F222
シャープ	F223	F224	F225	
SONY	F226 F230	F227 F231	F228	F229
東芝	F232 F236	F233	F234	F235
ビクター（JVC）	F237 F241	F238 F242	F239 F243	F240

TUNER / スカイパーフェクTV!チューナー

メーカー名	設定番号		
アイワ	F301	F302	F303
DXアンテナ	F304		
日立	F305	F306	F307
マスプロ電工	F308	F309	
NEC	F310		
パナソニック（松下）	F311	F312	F313
シャープ	F314	F315	
SONY	F316	F317	F318
東芝	F319	F320	
ビクター（JVC）	F321		
八木アンテナ	F322		
ユニデン	F323		

CATV / ケーブルテレビホームターミナル

メーカー名	設定番号		
愛知電子	F401	F402	
DXアンテナ	F403	F404	
富士通	F405		
日立	F406		
マスプロ電工	F407		
NEC	F408		
パナソニック（松下）	F409	F410	F411
パイオニア	F412		
サイエンティフィックアトランタ	F413		
SONY	F414		
住友電気	F415	F416	F417
東芝	F418		
Wintersat	F419		

DVD / DVDプレーヤー・DVDレコーダー

メーカー名	設定番号			
リアル・フリート	F501	F502	F538	
アイワ	F503			
デンオン / デノン	F504	F505	F506	
フナイ	F507			
日立	F508			
三菱	F509			
オンキョー	F510			
パナソニック（松下）	F511 F515	F512 F516	F513 F517	F514
フィリップス	F518			
パイオニア	F519	F520	F521	F522
シャープ	F523			
SONY	F524 F528	F525 F529	F526 F530	F527
ティアック	F531			
東芝	F532	F533	F534	
ビクター	F535	F536		
ヤマハ	F537			

HDVR / ハードディスクビデオレコーダー

メーカー名	設定番号			
パナソニック（松下）	F601	F602	F603	F604
シャープ	F605			
SONY	F606	F607	F608	
東芝	F609			
ビクター（JVC）	F610			
日立	F611			

CD / CDプレーヤー

メーカー名	設定番号			
リアル・フリート	F701			
AIWA	F702	F703	F704	F705
アカイ	F706			
DAEWOO	F707			
デンオン / デノン	F708	F709	F710	F711
GOLDSTAR	F712	F713		
Harman/Kardon	F714			
日立	F715			
ケンウッド	F716 F720	F717 F721	F718 F722	F719
マランツ	F723			
ナカミチ	F724	F725		
オンキョー	F726	F727	F728	F729
パナソニック（松下）	F730	F731	F732	
フィリップス	F733			
パイオニア	F734 F738	F735	F736	F737
SAMSUNG	F739			
サンスイ	F740	F741	F742	
サンヨー	F743			
シャープ	F744	F745		
SONY	F746 F750	F747	F748	F749
テクニクス（松下）	F751	F752	F753	F754
東芝	F755	F756		
ビクター	F757	F758	F759	F760
ヤマハ	F761	F762	F763	
Bang & Olufsen	F764			

メーカー番号一覧

AMP / アンプ

メーカー名	設定番号			
AIWA	F801	F802	F803	F804
アカイ	F805			
DAEWO	F806			
デンオン / デノン	F807 F811	F808 F812	F809	F810
GOLDSTAR	F813			
Harman/Kardon	F814			
ケンウッド	F815 F819	F816 F820	F817	F818
マランツ	F821	F822	F823	
ナカミチ	F824	F825	F826	
オンキョー	F827	F828	F829	F830
パナソニック（松下）	F831	F832	F833	
フィリップス	F834			
パイオニア	F835 F839	F836 F840	F837 F841	F838
SAMSUNG	F842			
サンスイ	F843	F844	F845	F846
サンヨー	F847			
シャープ	F848	F849	F850	F851
SONY	F852	F853		
ティアック	F854			
テクニクス（松下）	F855	F856	F857	F858
東芝	F859			
ビクター	F860 F864	F861 F865	F862	F863
ヤマハ	F866	F867	F868	F869
Bang & Olufsen	F870			
リアル・フリート	F871			

AIR / 空気清浄機

メーカー名	設定番号
リアル・フリート	F901